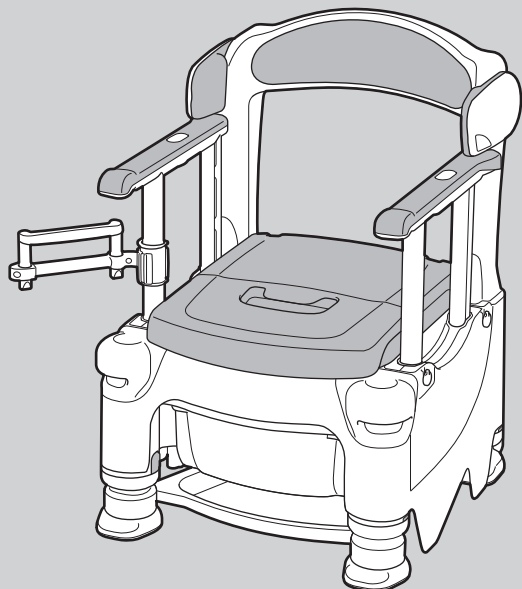


あんじゅ
安寿

ポータブルトイレ FX-30自動ラップ

共通取扱説明書



標準便座

標準便座・快適脱臭

ソフト便座

ソフト便座・快適脱臭

暖房便座

暖房便座・快適脱臭

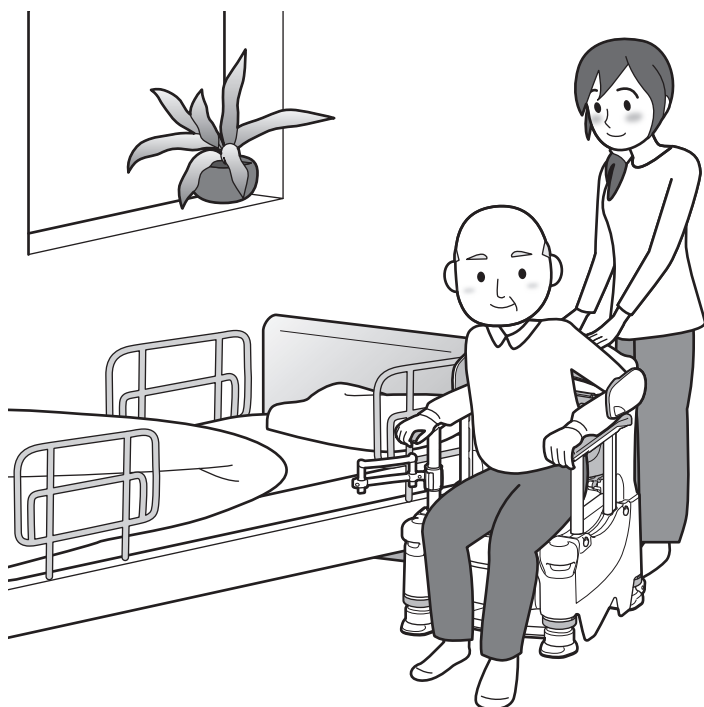
(文中表記：暖房・脱臭)

最大使用者体重：100kg

ご使用前にこの取扱説明書と保証書をお読みください。

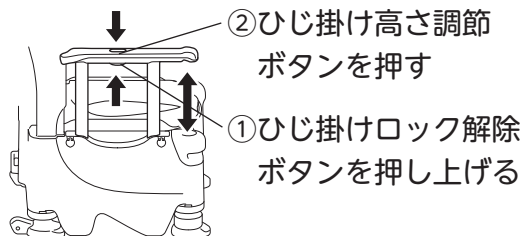
このたびは本製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ・正しくお使いいただくため、ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- ・取扱説明書を読んだあとは必ず保管してください。



ひじ掛け高さの調節方法

①ボタンを押し上げたまま②ボタンを押して、ひじ掛けを上下にスライドして高さ調節します。



保存版
(保証書付)

ARONKASEI CO.,LTD.

もくじ



確認しましょう P.2～6

- ・購入品と梱包品の確認…………… 2
- ・各部の名称…………… 3～4
- ・商品の寸法図と仕様…………… 5～6



安全上のご注意 P.7～12



ご使用の前に P.13～24

- ・組み立てましょう…………… 13
- ・各部の調節をしましょう…………… 13～17
- ・ペーパーホルダーの使いかた…………… 18～19
- ・便座シートを取り付けましょう…………… 19～20
- ・ラップユニットの準備をしましょう…………… 20～21
- ・ラップユニットにフィルムカセットを取り付けましょう…………… 21～24
- ・リモコンを取り付けましょう…………… 25



使いましょう P.25～32

- ・ご使用になる前に…………… 25
- ・ラップユニットの使いかた…………… 26～30
- 使用前の準備のしかた…………… 26
- 汚物処理のしかた…………… 27
- ラップのし直しかた…………… 28
- フィルムカセット交換の案内…………… 28
- フィルムカセットの交換のしかた…………… 29～30
- ・トイレの使いかた…………… 30～32
- 座りかた…………… 30
- 移動のしかた…………… 30
- こんな使いかたができます…………… 31～32
- より快適にご使用いただくために…………… 32



バケツ使用の場合 ・ご使用の前に ・使いましょう P.33～36

- ・バケツで処理をする準備をしましょう…………… 33～34
- ・バケツの使いかた…………… 35～36
- 使用前の準備のしかた…………… 35
- バケツでの汚物処理のしかた…………… 36
- バケツ利用からラップユニット利用への戻しかた…………… 36



お手入れしましょう P.37～43

- ・お掃除のしかた…………… 37～41
- ・点検のしかた…………… 42
- ・交換部品…………… 43



各種機能 P.44～50

- ・暖房便座…………… 44～45
- ・快適脱臭…………… 46～48
- ・暖房・脱臭…………… 49～50



困ったときには P.51～59

- ・よくあるご質問…………… 51
- ・ラップユニットのエラー…………… 52
- ・故障かな?と思ったら…………… 53～57
- ・知的財産権などについて…………… 58
- ・保証とアフターサービス…………… 58～59

👉 確認しましょう

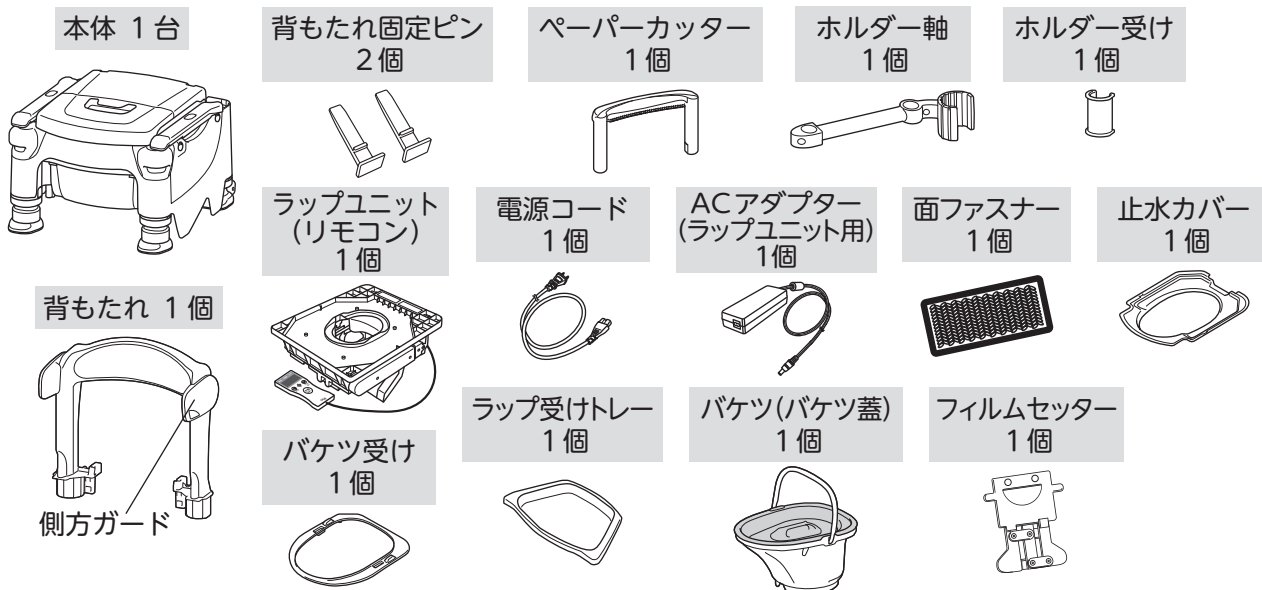
購入品と梱包品の確認



ご購入いただきました製品によって、梱包品、および確認していただくページが異なります。組み立てる前に、購入した製品にシ点を付け、ご確認をお願いいたします。

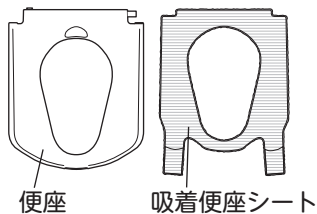
梱包品が揃っているか、下のイラストを見ながら確認しましょう。

全タイプ共通

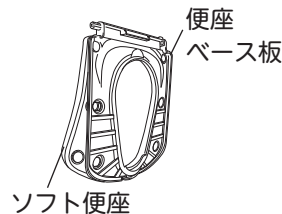


便座の種類

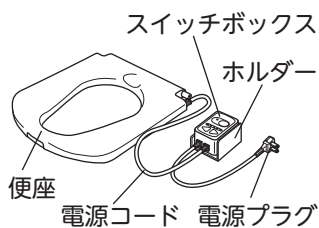
☐ 標準便座



☐ ソフト便座

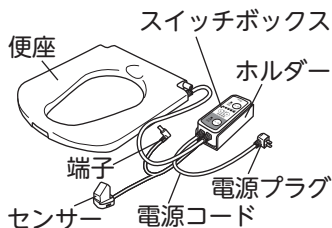


☐ 暖房便座



詳しくは…P. 44へ

☐ 暖房・脱臭用便座



詳しくは…P. 49へ

別売品 (消耗品)

自動ラップポータブルトイレ
専用凝固剤 (約 60 回分)



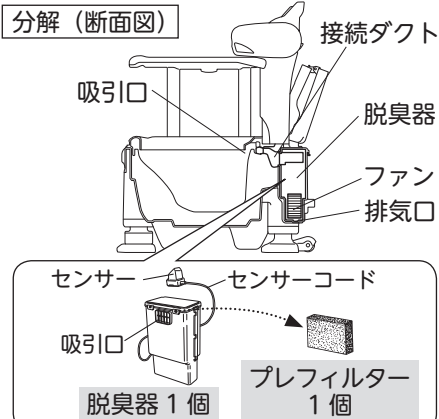
自動ラップポータブルトイレ
専用フィルムカセット
(約 60 回分)



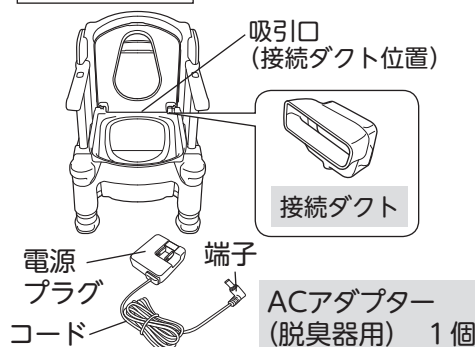
快適脱臭機能付き

☐ 快適脱臭

詳しくは…P.46へ



正面図



確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

🗑️ バケツ使用の場合

💧 お手入れしましょう

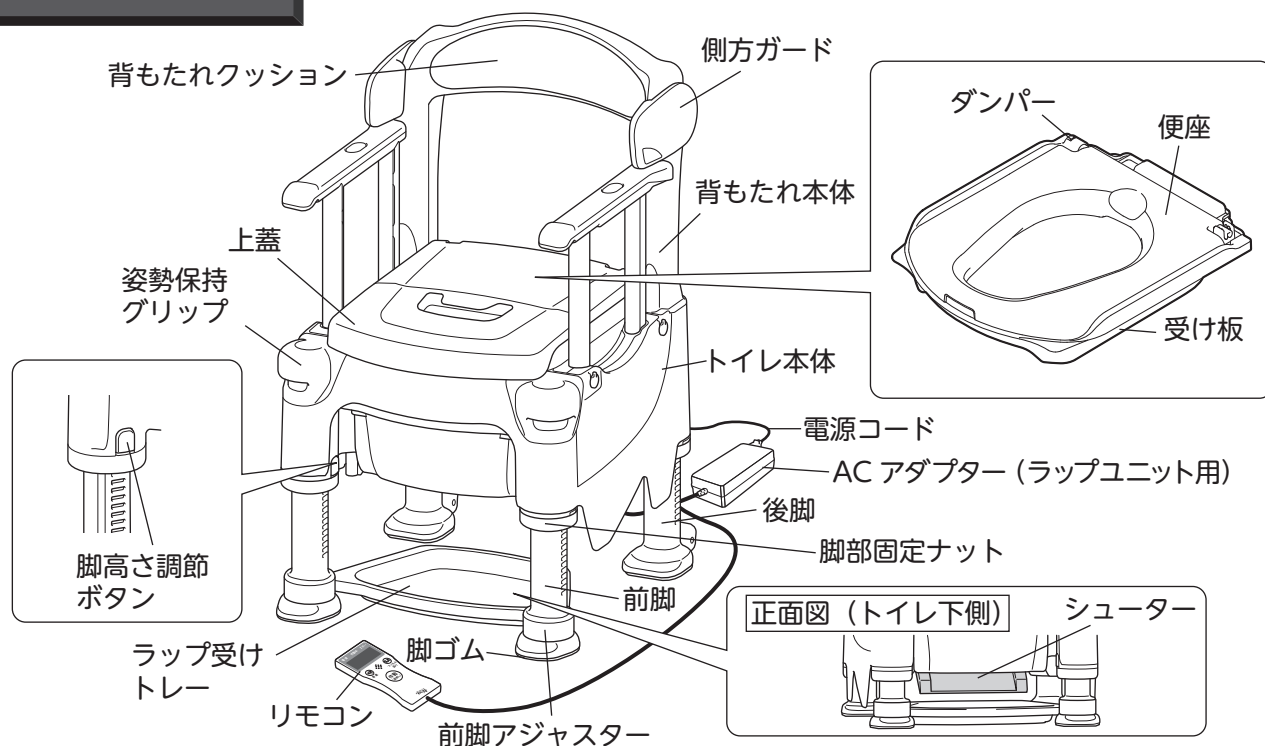
🔌 各種機能

？困ったときには

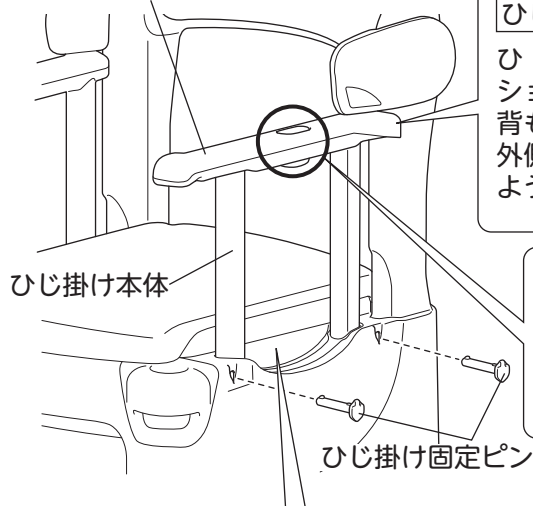
👉 確認しましょう

各部の名称

■全タイプ共通

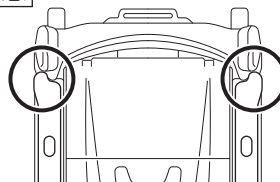


ひじ掛けクッション



ひじ掛け設置状態

ひじ掛けクッションの後方が背もたれ本体の外側にかぶさるように設置



ひじ掛け高さ調節ボタン



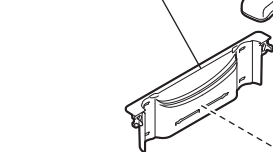
ひじ掛けロック解除ボタン



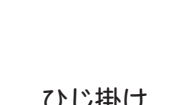
側方ガード固定ピン

側方ガード固定ピン

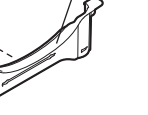
ひじ掛けカバー（内）



ひじ掛け本体



ひじ掛けカバー（外）



ひじ掛けアジャスター



背もたれ固定ピン



キャスター

キャスター

確認しましょう

！安全上のご注意

✳️ご使用前に

使いましゅう

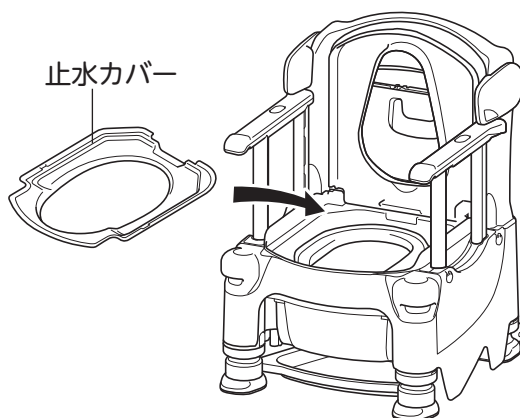
場合
バケツ使用の

お手入れ
しましゅう

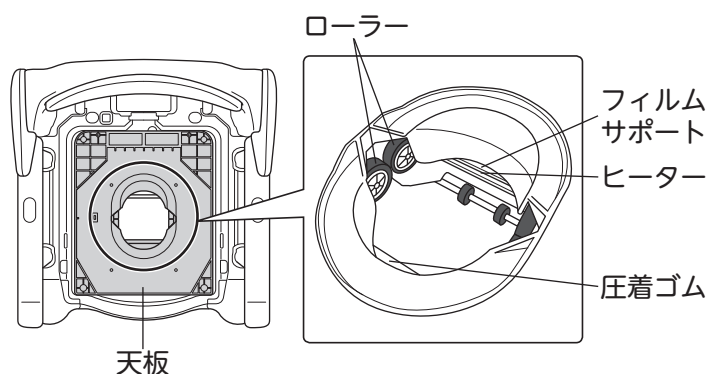
各種機能

？困ったときには

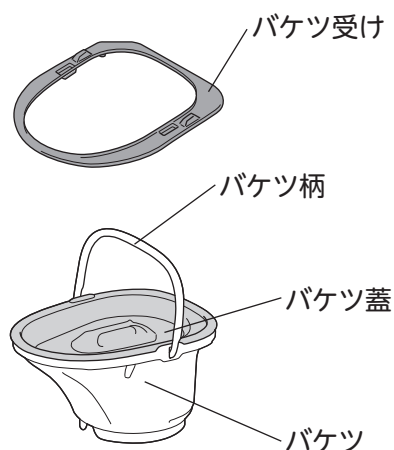
共通



■ラップユニット



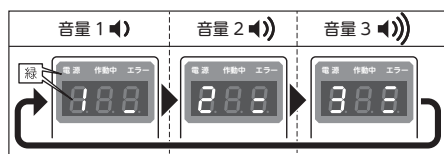
■バケツセット



■リモコン



※音量ボタン操作時の画面表示



音量を0にすることはできません

電源ランプの表示	本体の状態
緑点灯 電源 作動中 エラー 8.8.8	動作待機中。 使用可能です。
緑点減 電源 作動中 エラー 8.8.8	省エネ待機中。 いずれかのボタンを押すと省エネ状態 が解除され、使用可能になります。

ボタン	操作方法	操作内容
作動 (長押し)	1 秒以上 長押し	ボタンを押すと作動中ランプが点灯し、ラップ処理（フィルム送り、フィルムの圧着、フィルムの切断）を開始します。表示画面にはラップ処理終了までの時間が表示され、終了すると案内音が鳴ります。
フィルム送り	1 秒以上 長押し	ボタンを押している間、ローラーが駆動し、フィルムを送ります。1 度の長押しで送られるフィルムの最大長さは 20cm です。
音量	ワンプッシュ	ボタンを 1 回押すと案内音の音量が一段階大きくなります。最大音量の次には音量 1 になります。

確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

バケツ使用の場合

お手入れしましょう

各種機能

？困ったときには

👉 確認しましょう

商品の寸法図と仕様

商品寸法図

■全タイプ共通

単位：cm

便座から
ノーマルポジション設定：0、6～24 [3cmピッチ] (8段階)
ハイポジション設定：6、12～30 [3cmピッチ] (8段階)

便座まで
38～49
(12段階)

79～90

60

41

42.5

31

19

36

32

53

🔍 確認しましょう

! 安全上のご注意

✖️ ご使用の前に

💡 使いましょう

📦 バケツ使用の場合

🔥 お手入れしましょう

🔧 各種機能

? 困ったときには

仕様

■全タイプ共通

品 名		ポータブルトイレ FX-30 自動ラップ	
構 成 部 品	全タイプ共通	部 品 名	材 質
		本体、背もたれ本体、上蓋、受け板、バケツ、姿勢保持グリップ、ひじ掛け本体（支柱部）、ひじ掛けクッション、前脚（支柱部）、後脚、ペーパーカッター、ホルダー軸、側方ガード、ラップ受けトレイ、バケツ受け	ポリプロピレン
		前脚（下部）、前脚アジャスター	ABS 樹脂
		背もたれクッション	ポリエチレン
		脚ゴム	エラストマー
		キャスター（車輪部）	ポリアセタール
		ラップユニット	PBT/ABS 樹脂
	標準便座タイプ 暖房便座タイプ 標準便座・快適脱臭タイプ 暖房便座・快適脱臭タイプ	便座	ポリプロピレン （抗菌加工）
		便座	EVA 樹脂（抗菌加工）
	ソフト便座タイプ ソフト便座・快適脱臭タイプ	便座ベース板	ポリプロピレン
バケツ容量		約 9 L	
サ イ ズ		幅53×奥行60×高さ79～90cm（便座までの高さ38～49cm[1cmピッチ]）	
重 量	標準便座タイプ	17.5kg	
	ソフト便座タイプ	17.5kg	
	暖房便座タイプ	18.5kg	
	標準便座・快適脱臭タイプ	18.0kg	
	ソフト便座・快適脱臭タイプ	18.0kg	
	暖房便座・快適脱臭タイプ	19.0kg	

■ラップユニット

定 格	75W 以下 電源電圧入力: AC100V ± 10V (AC アダプター使用) または、DC13.5V ± 1V (電圧ドロップ含む)
消費電力	動作時: 75W/ 待機時: 5W 以下
コード長	1.8 m
安全装置	挟み込み防止機能、温度ヒューズ

■暖房便座タイプ

材 質	便座・裏板	ポリプロピレン
	スイッチボックス・ホルダー	ABS 樹脂
定 格	(電源電圧) 入力: AC100V・50/60Hz	
消費電力	約 53W	
表面温度	温度調節範囲: 約 30 ～ 40℃	
発 熱 体	コードヒーター	
コード長	本体側約 0.9m、電源側約 1.6m	
安全装置	温度ヒューズ	

■暖房・脱臭タイプ

定 格	(電源電圧) 入力: AC100V・50/60Hz 出力: DC12V (付属脱臭器専用)
消費電力	暖房: 約 53W/ 脱臭: 約 5W
コード長	暖房便座: 本体側約 0.9m 電源側約 1.6m 脱臭器: 0.9m

■快適脱臭タイプ

材 質	脱臭器本体	ポリプロピレン
	接続ダクト	ポリエチレン
	プレフィルタ	ポリウレタン
	吸着材	触媒配合コルゲートハニカム活性炭
サ イ ズ	幅 13.5 × 奥行 9.5 × 高さ 22cm	
定 格	(AC アダプター) 入力: AC100V・50/60Hz 出力: DC12V	
消費電力	約 5W	
脱臭方法	吸着脱臭方式	
吸着材寿命	約 7年（1日1時間使用した場合）	
動 作	人体を感知し自動的に起動 最終感知から5分後に停止	
コード長	約 1.9m	

※その他の項目は、「暖房便座タイプ」および「快適脱臭タイプ」をご参照ください。

廃棄上のご注意

お住まいの地域の分別ルールに従って廃棄してください。

確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

バケツ使用の場合

お手入れしましょう

各種機能

？困ったときには

！ 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。



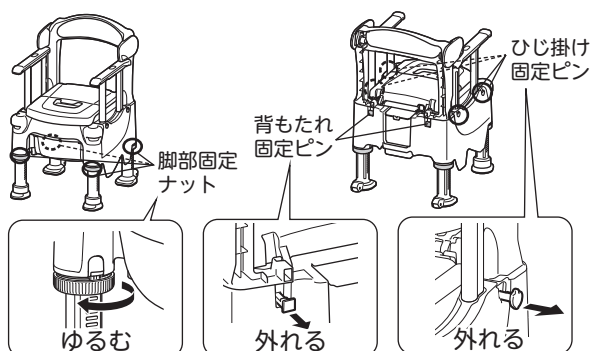
警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

！ 必ず行うこと ！

ご使用の前に右図の部品がゆるんだり、外れたりしていないか各部にガタつきなど、異常がないか点検すること

本体が不安定になり、転倒やけが、故障、破損の原因になります。



ひじ掛けの高さを調整した後、しっかり固定されているか確認すること



ひじ掛けが固定されていないと、転倒やけが、故障、破損の原因になります。

本体に体を十分に近づけてから座ること

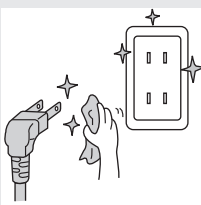
本体が離れていると浅座りになり、転倒やけがの原因になります。



ラップユニット／暖房便座／快適脱臭の場合

電源プラグ、コンセントはきれいにすること

電源プラグの周辺やコンセント差し込み部にほこりがついていない場合はよくふいてください。火災の原因になります。



電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込むこと

感電、ショート、発煙、発火の原因になります。



雷が発生しているときは電源プラグを抜くこと

故障の原因になります。



電源プラグを抜く



便座の暖房機能による低温やけどに注意すること

比較的低い温度でも長時間皮ふの同じ場所に触れていると低温やけどのおそれがあります。

詳しくは…P.44へ

製品を移動させるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、コードをまとめてから移動すること

コードの破損、感電、ショート、火災の原因になります。



電源プラグを抜く

次のときは電源プラグを抜くこと



電源プラグを抜く

- ・長期間使用しないとき
- ・お手入れするとき
- ・各部の調節をするとき



感電、事故の原因になります。

確認しましょう

！ 安全上のご注意

＊ ご使用の前に

使いましゅう

場合 バケツ使用の

お手入れ

各種機能

？ 困ったときには



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

絶対にしないこと

絶対に分解、修理、改造をしないこと



分解禁止

本体機能が正常にはたらかず、けがの原因になります。
ラップユニット、暖房便座、脱臭器を分解・改造すると、感電、ショート、火災の原因になります。

故障したままで使いつづけないこと

故障とは…

- ・異音、異臭がしている
- ・製品が異常に熱い
- ・製品にひびや割れが入っている
- ・製品から煙がでている …など

故障したまま使いつづけると、けがや火災・感電の原因になります。

すぐに使用を中止し、販売店に連絡してください。

商品梱包用のポリ袋は幼児の手が届くところに置かないこと

幼児がかぶると窒息するおそれがあります。

介助者がいない場合、自分自身の身体を十分に安定させられないときは使用しないこと

転倒やけがの原因になります。

ふらつきがある方など



脚部固定ナットがゆるんだ状態で使用しないこと

本体から脚が外れ、転倒やけが、故障、破損の原因になります。



正常でない状態(本書の指定以外の状態)では使用しないこと

- ・ひじ掛け、背もたれ、脚、側方ガードなど部品を外している状態
- ・ひじ掛けを左右差し替えた状態
- ・脚の向きを変えた状態
- ・脚の高さが左右で異なる状態
- ・前脚が後脚よりも高い状態(後傾状態)
- ・後脚が前脚よりも3 cm以上高い状態(前傾3°を超える前傾状態)
- ・ひじ掛け、前脚・後脚が目盛りの位置以外の高さの状態
- ・(ラップユニット使用時)止水カバーを外している状態
- ・(バケツ使用時)バケツ受けを外している状態

など、正常でない状態で使用すると、転倒やけが、故障、破損の原因になります。

体重が100kgを超える方は使用しないこと

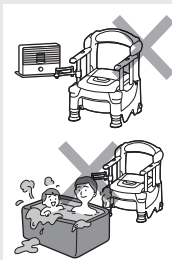
転倒やけが、故障、破損の原因になります。



不安定な場所や、近くに火気や水気がある場所には設置しないこと

- ・浴室など湿気の多い場所
- ・ストーブなど火気が近くにある場所
- ・直射日光の当たる場所
- ・床が平坦ではなく不安定な場所

火災・変形・変色などが起こり、場合によっては転倒やけがの原因になります。



物をのせたまま移動させないこと

- ・人や物をのせたまま移動させない
- ・ラップユニット内や、バケツ内に水や汚物を入れたまま移動させない

けが、故障、破損、服や床を汚す原因になります。



製品に過度な力や強い衝撃を加えないこと

- ・ひじ掛けや背もたれ、側方ガードを移動時の手すり代わりにする
- ・立ち座り時にひじ掛けに全体重がかかるような過度な横方向の力を加える
- ・便座・上蓋の上に立つ
- ・製品を落とす
- ・上蓋やひじ掛けの上に腰かける …など

転倒やけが、故障、破損の原因になります。



立ち座り時にペーパーホルダーや側方ガードを手すり代わりにしないこと

転倒やけが、故障、破損の原因になります。



側方ガードをつかんで移乗動作や身体の向きを変える動作をしないこと

転倒やけが、故障、破損の原因になります。



子どもを遊ばせるなど、他の用途では使用しないこと



確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

🗑️バケツ使用の場合

💧お手入れしましょう

🔥🔧各種機能

？困ったときには

！ 安全上のご注意



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

⊘ 絶対にしないこと ⊘



ラップユニット／暖房便座／快適脱臭の場合

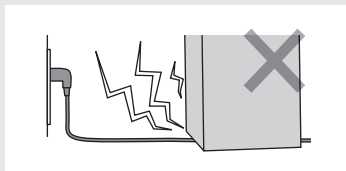
電源プラグ、電源コードを破損するようなことをしないこと

また、電源プラグや電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるんだ状態で使用しないこと

下記のことを行くと、電源プラグや電源コードが傷つきます。

- 重い物をのせる
- ドアのすき間などに挟む
- 加工する
- 折り曲げる
- 無理に束ねる
- 熱器具に近づける
- 電源コードを引っ張ってポータブルトイレを移動させる
- 電源プラグを差したまま移動させる
- コードを無理に引っ張る
- 指定外の電源コードを使用する

電源プラグや電源コードが傷んだまま使用すると、感電、ショート、火災の原因になります。



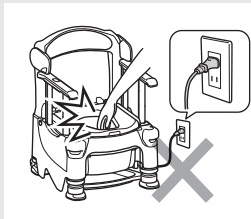
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと

感電やけがの原因になります。



電源プラグを差した状態でトイレの中に手を入れないこと

ローラーや圧着ゴムに手を挟まれて、けがや火傷の原因になります。

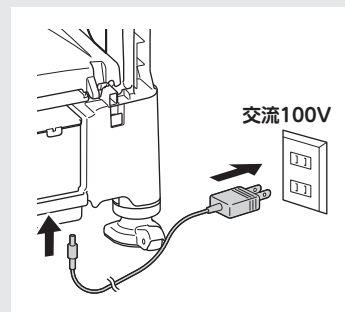


凝固剤は口に入れないこと

凝固剤は飲食物ではありません。詳しくは凝固剤の使用上の注意に当たってください。

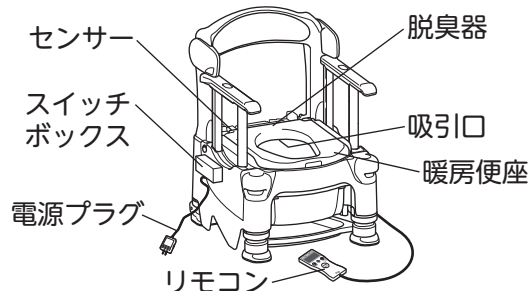
配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外では使用しないこと

他の器具と併用し、定格を超えると、分岐コンセント部が異常発熱して、火災の原因になります。



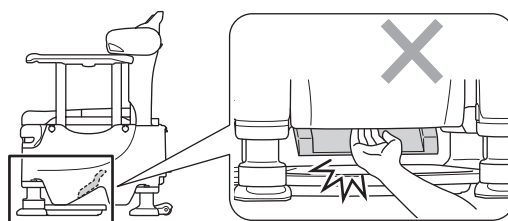
以下の場所に尿や水をかけないこと

感電、ショート、火災の原因になります。



本体の下のラップユニット開口部から手をいれないこと

けがや火傷の原因になります。



確認しましょう

！ 安全上のご注意

✕ ご使用の前に

♡ 使いましょう

🚫 バケツ使用の場合

💧 お手入れしましょう

🔧 各種機能

？ 困ったときには

アイコンの説明



電気使用注意



暖房便座注意



快適脱臭注意



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

！ 必ず行うこと ！



ラップユニット／暖房便座／快適脱臭の場合

長期間使用していない場合は、使用前に必ず作動確認を行うこと

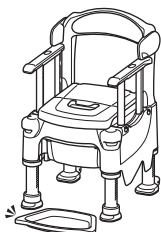
ラップユニットは…P.20へ

暖房便座は…P.44へ

快適脱臭は…P.46へ

ラップ済みのフィルムが下に残っていない状態で使用すること

袋(汚物の入ったフィルム)をラップユニットに挟みこみ、故障やラップの圧着不良の原因になります。



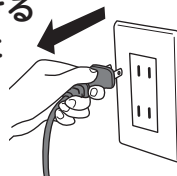
ご使用前には必ずフィルムの有無を確認すること

フィルムがない状態で使用するとラップユニットに汚物がかかり、故障の原因になります。



フィルムカセットを取り付けるときは電源プラグを抜くこと

誤って作動したときに、手や指を挟み、ケガや火傷の原因になります。



フィルムはフィルムセッターを使用して正しくセットすること

フィルムが外れたり、左右のバランスが悪くなり、ラップの圧着不良の原因になります。

詳しくは…P.22へ

新しいフィルムカセットを取り付けたら、必ずフィルムの初期設定をすること

初期設定をしないと、袋の底がラップされないために汚物が漏れて製品故障の原因になります。

詳しくは…P.24へ

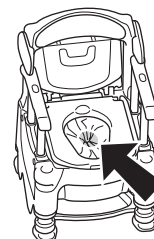
便座に深く腰かけて使用すること

浅く腰かけると、汚物がすき間に入り、ラップユニットの故障や床などを汚す原因になります。



使用済みのトイレトーパーなどは中央の穴部へ入れること

中央部以外に捨てると故障やラップの圧着不良の原因になります。



フィルムカセットを装着した状態でキャスターを使った移動など、トイレを傾けたときは、フィルムカセットが正しくセットされているか確認すること

トイレを傾けるとフィルムカセットがずれてしまう場合があります。正常にフィルムがラップされなくなる原因になります。

●ご使用前に以下のことを確認してください。

- ・フィルムがローラーに挟まっていること → 詳しくはP.22「4. フィルムセッターを使用してフィルムのセットをします」をご確認ください。
- ・受け板が正しく取り付けられていること → 詳しくはP.23「5. ①」をご確認ください。
- ・止水カバーの位置が正しいこと → 詳しくはP.23「5. ②」をご確認ください。

接続ダクトはポケット・脱臭器として必ず接続してあることを確認すること
吸引口に異物などを差し込んだり、挟み込まないこと

吸引力を低下させたり、故障の原因になります。



詳しくは…P.46へ

確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

🗑️バケツ使用の場合

💧お手入れしましょう

🔍各種機能

？困ったときには

！ 安全上のご注意



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

⊘ 絶対にしないこと ⊘

(バケツ使用時) バケツに水や汚物が入っている状態で、本体を移動させたり、便座の高さを調節しないこと

バケツの水や汚物がこぼれ、床などを汚す原因になります。



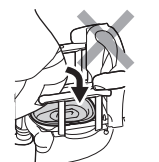
無理な段差や凹凸面では、キャスター移動を行わないこと

製品が破損する原因になります。



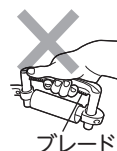
バケツ蓋をバケツや便座に取り付けた状態で座らないこと

お尻に接触し、けがの原因になります。



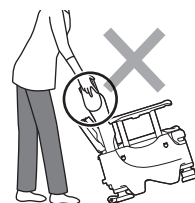
ペーパーカッターのブレードに強く触れないこと

ブレードに強く触れるとけがの原因になります。



側方ガードやペーパーホルダーをつかんでトイレを移動させたり、傾けないこと

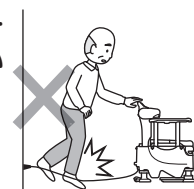
けが、故障、破損の原因になります。



電気 ラップユニット／暖房便座／快適脱臭の場合

電源コード・リモコンのコードを移動経路上に設置しないこと

コードにつまづいてけがの原因や、製品故障の原因になります。



専用のACアダプター以外は使用しないこと

感電、ショート、火災の原因になります。



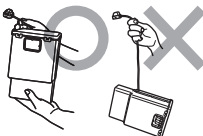
便座カバー・シートは取り付けないこと

暖房便座は便座カバー・シートが取り付けられる構造になっておりません。



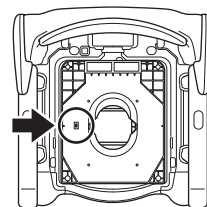
脱臭器のセンサーやセンサーコードを引っ張ったり折り曲げたりしないこと

断線して故障の原因になります。脱臭器を持ち運ぶときは、必ずセンサーに手をそえて脱臭器の本体を持ってください。



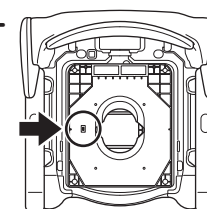
金属板・鏡面のもの・インバーター照明の近くや、太陽光や照明灯がセンサーに直接当たる場所には設置しないこと

誤作動の原因になります。



ラップユニットのセンサー面を傷つけないこと

誤作動の原因になります。



脱臭器の排気口に物や手を入れないこと

回転するファンに巻き込まれ、けがの原因になります。またファンの故障の原因になります。



脱臭器のセンサー面を傷つけないこと

誤作動の原因になります。

確認しましょう

！ 安全上のご注意

✖ ご使用の前に

♡ 使いましょう

場合 バケツ使用の

💧 お手入れしましょう

🔌 各種機能

？ 困ったときには

アイコンの説明



電気使用注意



暖房便座注意



快適脱臭注意



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

絶対にしないこと



ラップユニット／暖房便座／快適脱臭の場合

専用のフィルムカセット以外は使用しないこと

他のフィルムを使用するとフィルムが製品内部に巻き込まれたり、汚物が漏れるなど故障の原因になります。

凝固剤は指定の量を超える量を投入しないこと

大量に投入すると凝固剤がローラーに挟まり、製品故障の原因になります。
詳しくは凝固剤に記載の使い方にしたがってください。

専用の凝固剤以外は使用しないこと

他の凝固剤を使用すると凝固不足、ローラーの詰まり、ラップの圧着不良や故障の原因になります。

汚物をラップしないまま移動させないこと

汚物が漏れ、床や製品を汚す原因になります。



便座に腰かけた状態でラップユニットを作動させないこと

フィルムが破れたり、ラップユニットが作動せず、ラップ不良の原因になります。



●お手入れ・保管時の注意 以下の行為を行うと、製品の変色や劣化がすすむ原因になります。

次にあげるものではお手入れしないこと

- ・シンナー ・クレゾール ・酸、アルカリ性洗剤
 - ・塩素系薬剤（洗剤）や熱湯（煮沸消毒など）による殺菌、消毒
 - ・磨き粉、タワシ、研磨剤入りスポンジ、その他製品を傷つけるもの
- ※ひじ掛け、脚は上記のほかに、住宅用洗剤・アルコールも使用しないでください。

製品が劣化し、けがの原因になります。

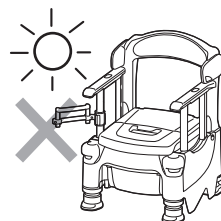


ラップユニットに水をかけて洗わないこと

火災、ショート、感電、故障の原因になります。

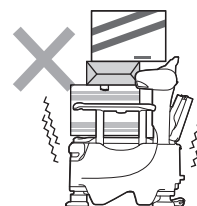
屋外に放置したり、直射日光に当てたりしないこと

劣化および変色の原因になります。



製品の上に重量物をのせた状態で保管しないこと

製品が変形し、けがの原因になります。



ちりやほこりが多いところに設置、保管しないこと

故障の原因になります。

確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

🗑️バケツ使用の場合

💧お手入れしましょう

🔥各種機能

？困ったときには

✖ ご使用の前に

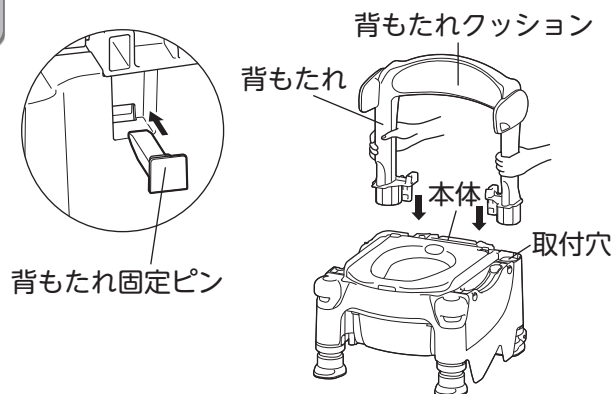
組み立てましょう

組み立てかた

1. 背もたれを本体に固定します

- ① 背もたれクッションのある方を前面にして本体の取付穴にはめ込みます。
- ② 背もたれの両支柱の後側から背もたれ固定ピンで、左右2ヶ所しっかり固定します。

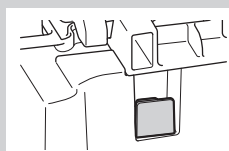
※背もたれを取り外す場合は、逆の手順で行ってください。



警告

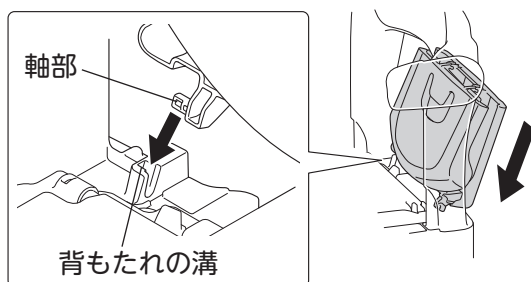


背もたれ固定ピンで背もたれを必ず固定すること
背もたれが外れ、不安定になり、けがの原因になります。



2. 上蓋を本体に固定します

上蓋を二つ折りにして軸部を背もたれの溝へ差し込みます。



暖房便座の場合



各部の調節をしましょう

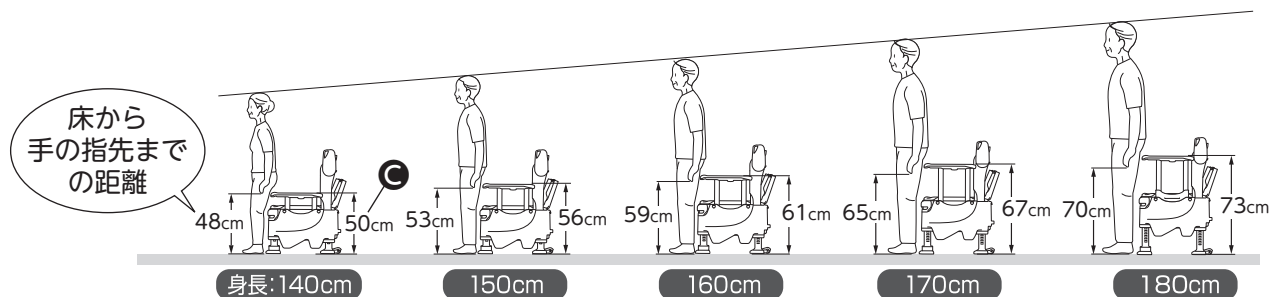
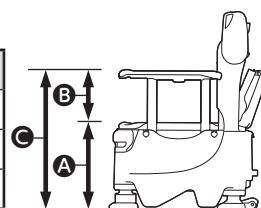
設定の目安

- ご使用される方の体格や症状に合わせて、便座の高さやひじ掛けの高さを調節してください。便座、ひじ掛けは工具を使わずに高さ調節できます。
- 排泄や移乗を行いやすいよう、利用する方の体格に合った設定をしてください。また、調節はお買い上げの販売店、ケアマネジャーなど専門家に相談することをおすすめします。



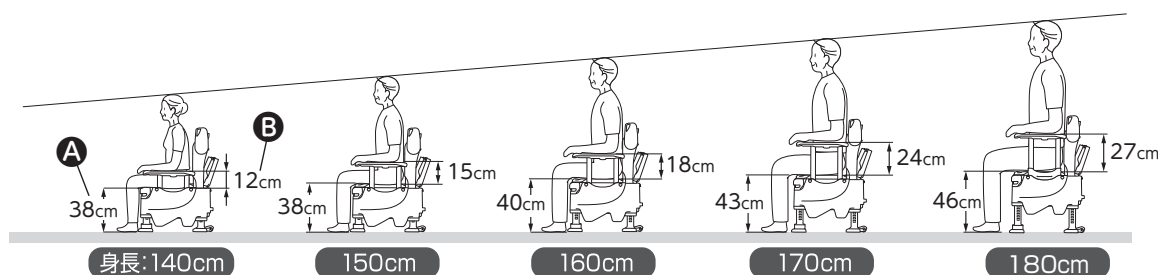
① ひじ掛けをつかんでゆっくり座りたい場合の設定目安

身長	140cm	150cm	160cm	170cm	180cm
①便座の高さ	38cm	38cm	40cm	43cm	46cm
②ひじ掛けの高さ	12cm	18cm	21cm	24cm	27cm
③床からひじ掛け先端までの高さ	50cm	56cm	61cm	67cm	73cm



② 肩に負担をかけずに座位保持やひじ掛けをプッシュアップしたい場合の設定目安

身長	140cm	150cm	160cm	170cm	180cm
①便座の高さ	38cm	38cm	40cm	43cm	46cm
②ひじ掛けの高さ	12cm	15cm	18cm	24cm	27cm



※上図の体格の数値はあくまで平均値であり個人差があります。
最終的には本人の身体寸法を基準にしてください。

ひじ掛け高さ調節のしかた

設定したいひじ掛けの高さを決めます

ひじ掛け高さは、ノーマル / ハイポジション設定ができます。

※出荷時はノーマルポジション設定になっています。ハイポジション設定にしたい場合はひじ掛けアジャスターの高さ調節を行ってください。

ノーマルポジション設定：便座から 0、6～24cm [3cm ピッチ] (8段階)

座位移乗によるひじ掛け昇降を行う場合におすすめ

肩に負担をかけずに座位保持やひじ掛けをプッシュアップしたい場合におすすめ

ハイポジション設定：便座から 6、12～30cm [3cm ピッチ] (8段階)

ひじ掛けをつかんでゆっくり座りたい場合におすすめ

確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

🗑️ バケツ使用の場合

💧 お手入れしましょう

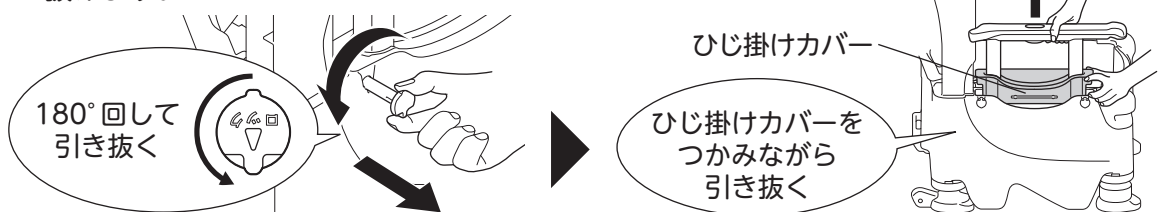
🔧 各種機能

？困ったときには

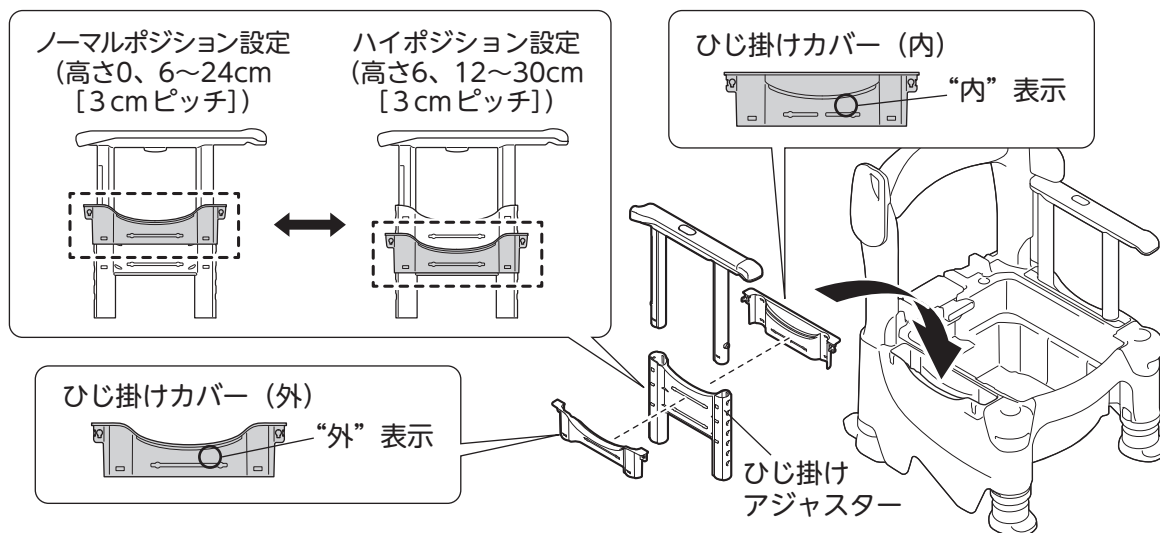
✳ ご使用の前に

1. ひじ掛けのノーマル / ハイポジション設定を変更する場合 ひじ掛けアジャスターの高さ調節を行います

- ① 本体から、上蓋、受け板を外してください。
- ② ひじ掛け固定ピンを 180° 回して引き抜きます。ひじ掛けカバーをつかみながら、本体からひじ掛けを引き抜くと、ひじ掛けアジャスターとひじ掛けカバー（内）（外）が一緒に抜けます。



- ③ ご希望のノーマル / ハイポジション設定にするため、抜いたひじ掛けアジャスターにひじ掛けカバーの取付位置を変えて取り付け、本体に差し込んでください。



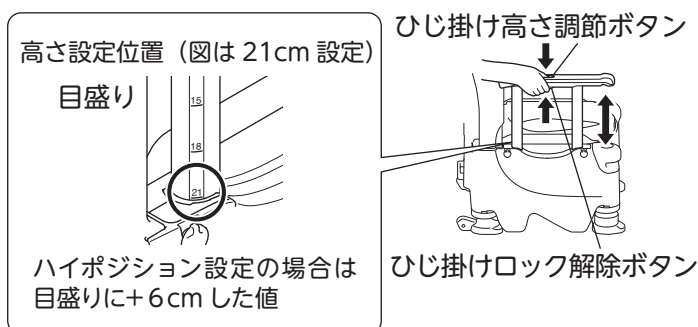
- ④ ひじ掛け固定ピンを差して、180° 回し固定します。
最後に本体へ受け板、上蓋を取り付けてください。



2. ひじ掛けの高さを調節します

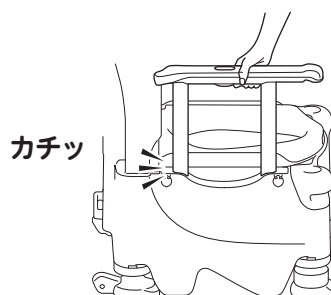
ひじ掛けロック解除ボタンを押し上げないとひじ掛け高さ調節ボタンが押せない安全構造です。

- ① ひじ掛けロック解除ボタンを押したまま、ひじ掛け高さ調節ボタンを押し、ご希望の高さにスライドさせ、両方のボタンを離します。



操作中にひじ掛けが不意に下がってしまう場合がありますので、体重をかけずにゆっくり操作してください。

②ひじ掛け本体を少し上下に動かすと、カチッという音がしてひじ掛けが固定されます。



3. 固定状況を確認します (完了)

最後にひじ掛けを軽くゆすり、ひじ掛けが本体にしっかりと固定されていることを確認して完了です。



ひじ掛けが
上下に動か
ないこと

警告



ひじ掛けは目盛りの位置以外の高さで使用しないこと

目盛りの位置以外で使用するとひじ掛けが外れたり、不意にスライドしたりして、けがの原因になります。

ひじ掛けの高さを調節した後、しっかりと固定されているか確認すること

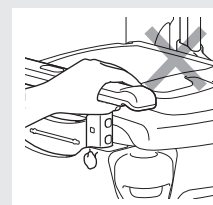
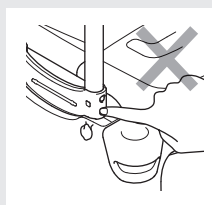
ひじ掛けが固定されていないと、転倒やけが、故障、破損の原因になります。

注意



ひじ掛けの高さ調節時に、ひじ掛けアジャスターの穴部やひじ掛け本体とひじ掛けアジャスターの接触部に触れないこと

手指が挟み込まれ、けがの原因になります。

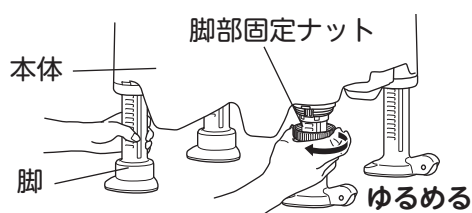


便座高さ・便座角度調節のしかた

●便座の高さは、38～49cmの間で調節することができます。調節の方法は以下の手順にしたがって行ってください。脚部固定ナットをゆるめないと、脚高さ調節ボタンが押せない安全構造です。

1. 脚部固定ナットをゆるめます

脚部固定ナットは前後ともゆるめてください。



確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

バケツ使用の場合

お手入れしましょう

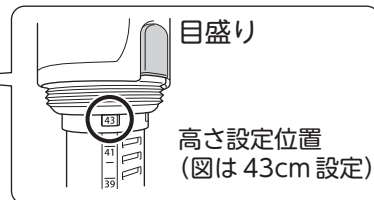
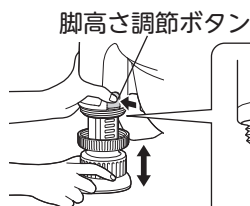
各種機能

？困ったときには

✳ ご使用の前に

2. 脚の高さを合わせます

- ①脚高さ調節ボタンを押し、ご希望の高さにスライドさせ、ボタンを離します。



●便座角度

便座角度を2段階調節できます。

0°設定：脚4本とも同じ高さに設定

前傾3°設定：後脚2本を前脚2本よりも2cm高く設定

便座を前傾3°に設定すると排泄しやすい前傾姿勢がとりやすくなります。また、尿が下方向へ出しやすくなり、トイレ前方への尿こぼれを減らすことができます。



- ②前脚・後脚を少し上下に動かすと、カチッという音がして脚が固定されます。

警告



脚の向きを変えた状態で使用しないこと

前脚・後脚は目盛りの位置以外の高さで使用しないこと

脚の高さが左右で異なる状態で使用しないこと

前脚が後脚よりも高い状態（後傾状態）で使用しないこと

後脚が前脚よりも3cm以上高い状態（前傾3°を超える前傾状態）で使用しないこと

3. 脚部固定ナットをしめて、固定します

しっかり固定されていることを確認してください。

脚部固定ナット



警告



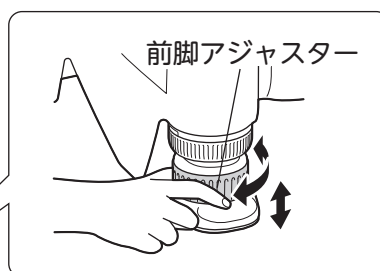
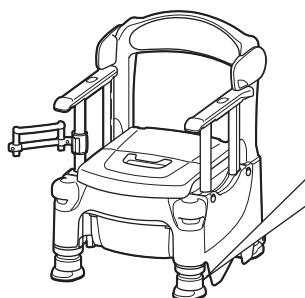
脚部固定ナットがゆるんだ状態で使用しないこと

本体から脚が外れ、転倒やけが、故障、破損の原因になります。

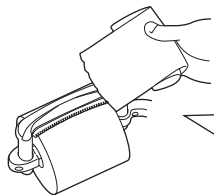
4. 床面によるガタつきを抑えます

床に設置したときにトイレ自体がガタつく場合は、前脚アジャスターでガタつきを抑えることができます。

左右の前脚アジャスターを回転させ、ガタつきが収まるように調整してください。

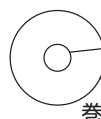


ペーパーホルダーの使いかた



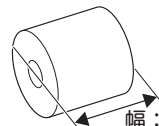
推奨ペーパー
フレッシュパルプの
シングルタイプまたは、
ダブルタイプを
推奨します。

※ペーパーの種類や切り方によって切りにくい場合があります。
※トイレトペーパーは下記のサイズをご使用ください。



芯の内径：37～39mm

巻き取り径：120mm以下



幅：116mm以下

ペーパーホルダーを取り付ける

ペーパーホルダーの取り付けかたはYouTube®
でもご覧いただけます。

※ペーパーホルダーはひじ掛けの左右どちら側
にも取り付けできます。



1. トイレ本体からひじ掛け本体を引き抜きます

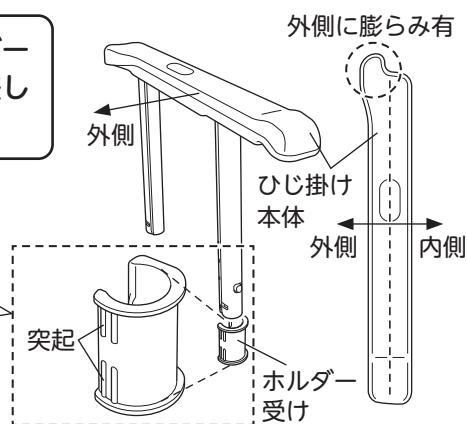
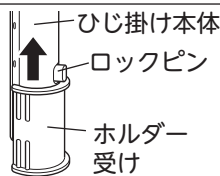
ひじ掛けロック解除ボタンとひじ掛け高さ調節ボタンを同時に押した
状態でひじ掛け本体を持ち上げ、トイレ本体から引き抜きます。

2. ひじ掛け本体の下からホルダー受けを差し込みます



ひじ掛け外側の膨らみがある側と、ホルダー
受けの突起がある側面との向きを揃えて差し
込みます。

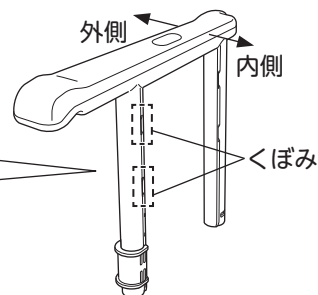
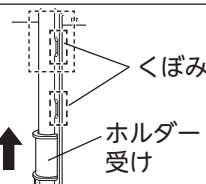
ひじ掛け本体のロック
ピンを指で押しながら、
ホルダー受けを差し込
みます。



3. ホルダー受けの位置を決めます

ホルダー受けをスライドさせ、ひじ掛け
本体内側のくぼみに必ずはめてください。
(ホルダー受けは2段階調節可能)

くぼみに合わせてスライド

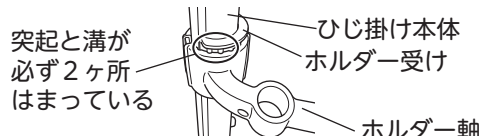
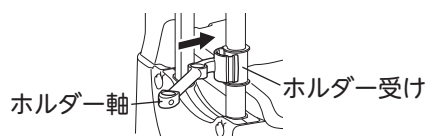


4. ホルダー受けにホルダー軸を取り付けます

① ひじ掛け本体を
トイレ本体に戻
します。

② ホルダー受けの突起に
向けてホルダー軸を横
から押し込みます。

③ ホルダー軸を回転させ、使いやすい位置に
調節します。その際、下図のように正しい
取り付け位置が確認してください。



確認しましょう

！安全上の注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

🗑️バケツ使用の場合

💧お手入れしましょう

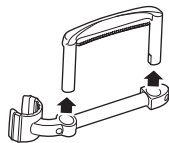
🔧各種機能

？困ったときには

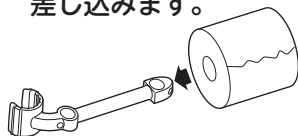
✳ ご使用の前に

トイレットペーパーをセットする

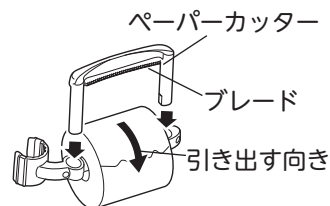
- ①ペーパーカッターを引き抜きます。



- ②トイレットペーパーをホルダー軸の端から差し込みます。



- ③ペーパーカッターのブレードとトイレットペーパーの引き出す向きを揃えてペーパーカッターを差し込みます。

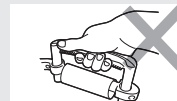


注意



ペーパーカッターのブレードに強く触れないこと

ブレードに強く触れるとけがの原因になります。



ベッド柵に取り付ける

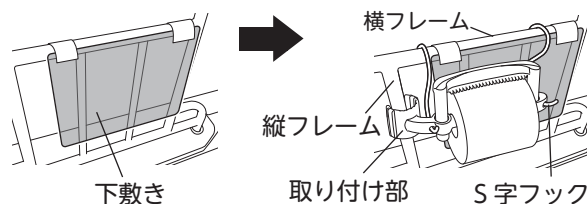
吊り下げ用穴を使ってベッド柵などに取り付けできます。

※長さ 10cm 以上の S 字フックを 2 個と、A4 サイズの下敷きを 1 つご用意ください。

- ①ホルダー軸の内側から S 字フックを「吊り下げ用穴」に通します。

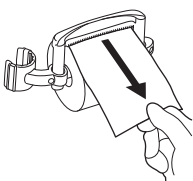


- ②下敷きをベッド柵にテープで貼り付けてから横フレームに S 字フックをかけて、縦フレームにホルダー軸の取り付け部を引っ掛けてセットします。



トイレットペーパーの切りかた

- ①トイレットペーパーをまっすぐ引き出します。



- ②斜め上方向に引き上げて切ります。



便座シートを取り付けましょう

※標準便座タイプのみ取り付けられます。

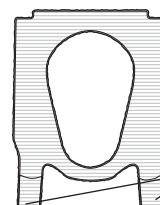
1. 便座のホコリなどを拭きとります

便座のホコリや水気、汚れなどをよく拭きとります。

※便座に除菌クリーナーを使用された場合は、一旦水拭きし、乾かしてからご使用ください。
(吸着力が弱くなります)

2. 保護フィルムを剥がします

吸着便座シート裏面の保護フィルムを剥がします。

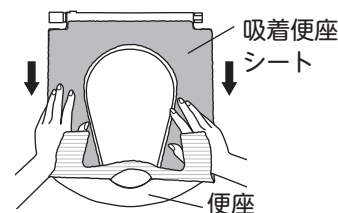
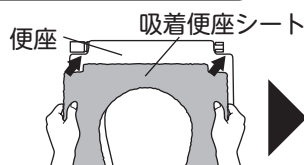


保護フィルムが残る場合があります。完全に剥がしてください。

✳ ご使用の前に（ラップユニット使用の場合）

3. 吸着便座シートを便座に貼りつけます

便座後側の角部に吸着便座シートの角部を合わせ、便座上面に沿わせるようにして吸着便座シートを便座に貼りつけます。



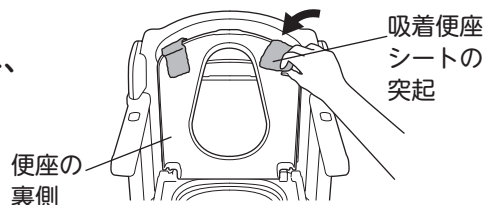
4. 吸着便座シートを便座の裏面に巻き込み、貼りつけます

- ①便座を上げます。
- ②吸着便座シートの突起を図のように便座の裏側に巻き込み、突起を便座の裏側に貼りつけます。



便座を本体から外して、吸着便座シートを取り付けることもできます。

便座の取り外し方は…P.39へ



ラップユニットの準備をしましょう

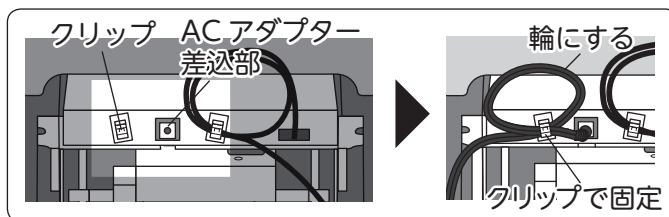
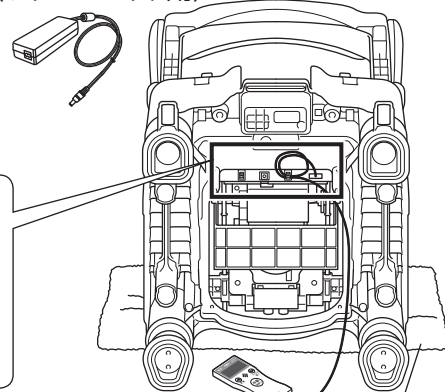
※汚物処理はバケツで行うこともできます。
消耗品のフィルムがなくなったとき／停電のとき／ラップユニットが故障したとき
付属のバケツおよびバケツ受けはすぐに取り出せる場所に保管しておいてください。

バケツでの汚物処理準備のしかたは…P.33へ

1. ACアダプター（ラップユニット用）を取り付け、コードを固定します

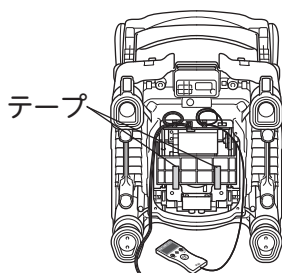
タオルなど、やわらかいものを敷いた上に、本体を前方に倒して、ACアダプター（ラップユニット用）のコネクタを本体差込部に奥まで差し込みます。その後、コードをクリップで固定してください。（コードは急に力がかかっても差込部から抜けないよう、図のように輪にしてとめてください）

ACアダプター
（ラップユニット用）

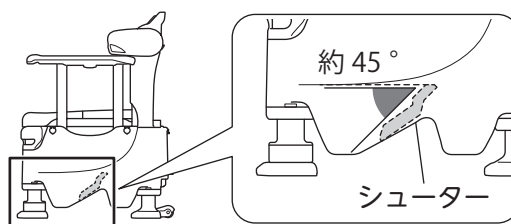


2. シューターを開きます

- ①シューター固定用のテープ2本を取り外し、本体を起こします。



- ②シューターが約 45° 開いたところで自然にとまることを確認してください。



確認しましょう

！安全上のご注意

✳ ご使用の前に

使いまししょう

バケツ使用の場合

お手入れしましょう

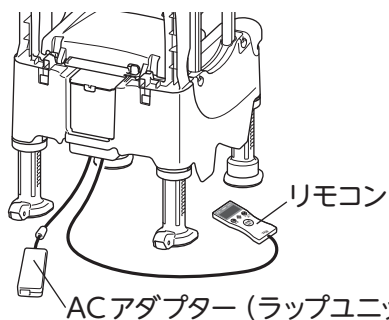
各種機能

？困ったときには

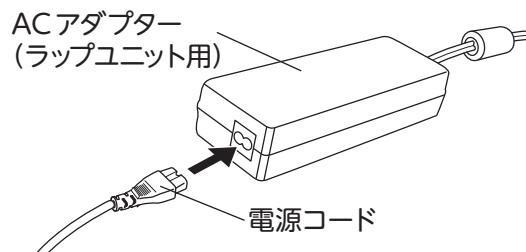
✳ ご使用の前に (ラップユニット使用の場合)

3. 本体後方へ AC アダプター (ラップユニット用) とリモコンのコードを通します

① 本体後方へ AC アダプター (ラップユニット用) とリモコンのコードを通します。

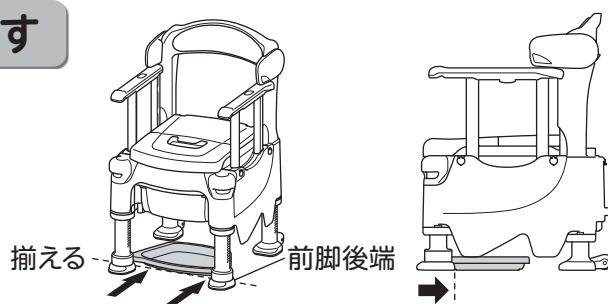


② AC アダプター (ラップユニット用) に電源コードを接続してください。



4. ラップ受けトレイを設置します

トイレの設置位置が決まったら、前脚後端とラップ受けトレイの前方が揃うようにラップ受けトレイを設置してください。



ラップユニットにフィルムカセットを取り付けましょう

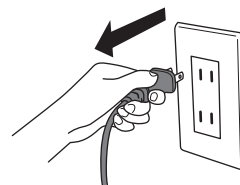
1. 電源プラグをコンセントから抜いてください

警告

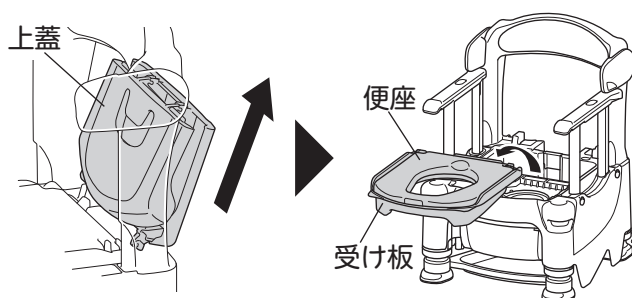


電源プラグを差した状態でトイレの中に手を入れないこと

ローラーや圧着ゴムに手を挟まれて、けがや火傷の原因になります。また、通電している部分に触れ、感電やショートの原因になります。



2. 上蓋を外し、受け板ごと、便座と止水カバーを外します



※ 止水カバーは受け板と便座の間に入っています。

確認しましょう

！安全上のご注意

✳ ご使用の前に

♡ 使いましょう

場合 バケツ使用の

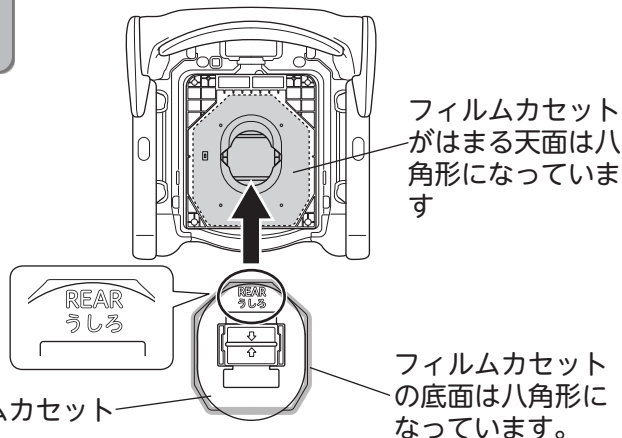
お手入れしましょう

各種機能

？ 困ったときには

3. フィルムカセットをラップユニット天面にのせます

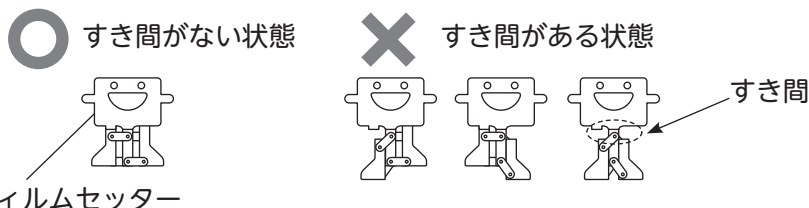
- ①フィルムカセットの「うしろ」の表示を背もたれ側にセットします。
- ②フィルムカセットの底面とラップユニットの天面が八角形の溝にはまっていることを確認してください。



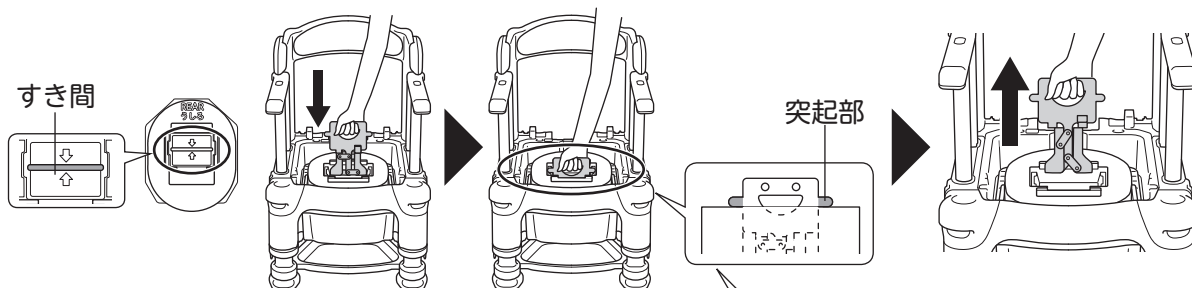
フィルムカセットは当社製のものを正しくご利用ください。
フィルムカセットの向きを間違えてしまうと、使用することができません。

4. フィルムセッターを使用してフィルムのセットをします

- ①フィルムセッターをすき間がない状態で準備します。

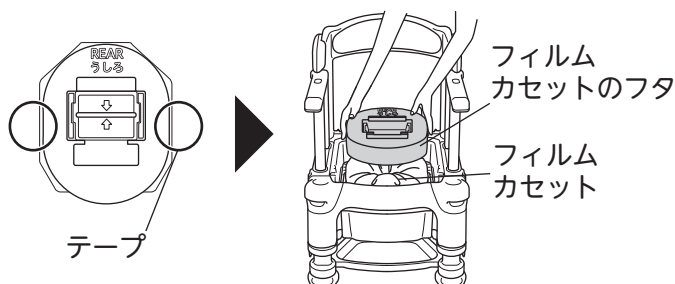


- ②フィルムセッターをフィルムカセット中央のすき間に差し込んでから垂直に抜きます。



フィルムセッターの突起部がフィルムカセットに接触するまで差し込んでください

- ③フィルムカセット両端部にある赤色の線が入ったテープを剥がし、フィルムカセットのフタを真上に持ち上げて外します。



※フィルムカセットのフタは、フィルムの再セット時に必要になりますので保管してください。

確認しましょう

！安全上のご注意

✖ご使用の前に

♡使いましょう

🗑️バケツ使用の場合

💧お手入れしましょう

🔍各種機能

？困ったときには

✖ ご使用の前に (ラップユニット使用の場合)

確認しましょう

！安全上のご注意

✖ ご使用の前に

♡ 使いましょう

場合 バケツ使用の

お手入れ しましょう

各種機能

？ 困ったときには

注意

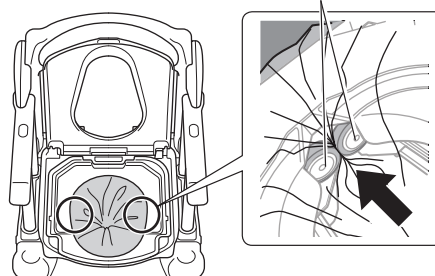


フィルムが左右のローラーに挟まれていること

フィルムが左右のローラーに挟まれていないと正常にラップされなくなる原因になります。

※フィルムがローラーに挟まれている場合は 4. ①からやり直してください。

ローラー (片側2つずつ)



5. 受け板ごと便座と止水カバーを戻し、上蓋を取り付けた後、正しく取り付いているか確認します。

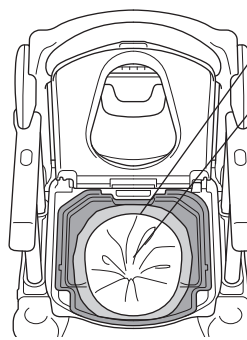
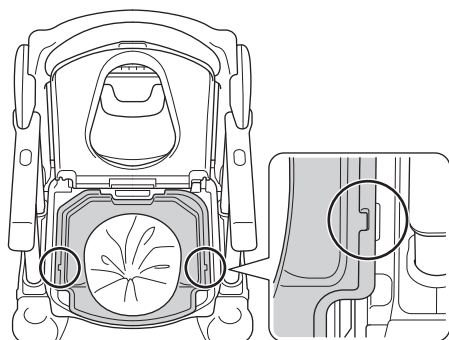
①受け板ごと便座と止水カバー (半透明) を戻し、上蓋を取り付けます。

②便座を上げて、止水カバー (半透明) が以下の状態になっていることを確認してください。

・凸部と凹部の位置が合っていること

※止水カバーは受け板と便座の間に入っています。

・止水カバー開口部がフィルムカセットの内側にあること

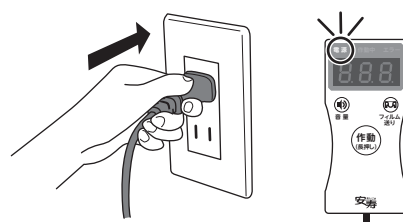


止水カバー開口部
フィルムカセット

※図のようにならない場合はフィルムカセットの向きが正しくない場合があります。フィルムを上方へ引っ張り、ローラーから外した後、P.22「3. フィルムカセットをラップユニット天面にのせます」からやり直してください。

6. 電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの電源ランプが点灯していることを確認してください

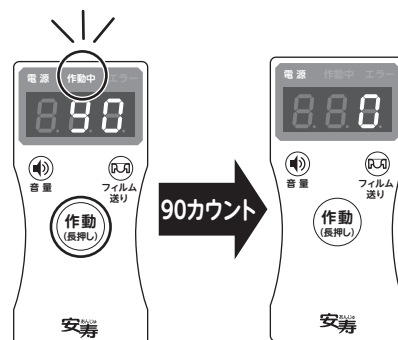
正常に電源が入ると、リモコンの電源ランプが緑色に点灯し、「ピピピピ」という案内音が鳴ります。



7. リモコンの作動ボタンを押し、ラップ動作の初期設定をします

作動ボタンを約1秒押し、作動中ランプが緑色に点灯し、ラップ動作の初期設定がされます。初期設定には90カウントかかり表示画面にはラップ終了までの目安時間が表示されます。

ラップ終了時には「ピッピッピ」という案内音が鳴り、リモコンの作動中ランプが消灯します。



注意



ラップ動作の初期設定が終了するまでフィルムに触れないこと

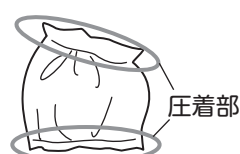
正しく動作せず、ラップされないために汚物が漏れて製品故障の原因になります。

8. 初期設定で切り離されたフィルムを取り出します

- ①初期設定が終了し、リモコンの作動中ランプが消灯したことを確認したら、ラップ受けトレイから切り離されたフィルムを取り出してください。



OK：圧着部が平行

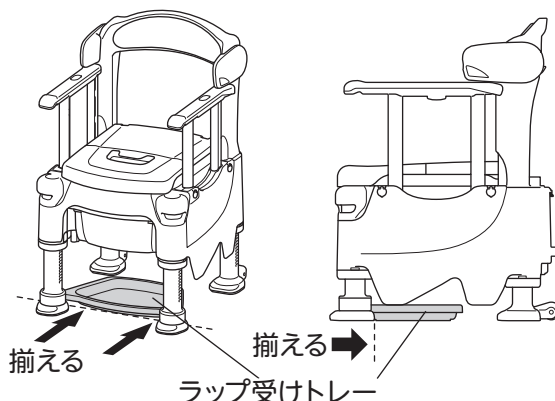


NG：圧着部の片方が斜め

- ②取り出したフィルムの上下の圧着部が平行になっているか確認してください。圧着部の片方が斜めになっている場合はフィルムがローラーに正しく挟まっていないおそれがあります。

※片寄っている場合はP.22「4. フィルムセッターを使用してフィルムのセットをします」からやり直してください。

- ③ラップ受けトレイを元の位置に戻して完了です。



注意



フィルムカセットを装着した状態でキャスターを使った移動など、トイレを傾けたときは、使用前にフィルムカセットが正しくセットされているか確認すること

トイレを傾けるとフィルムカセットがずれてしまう場合があります、正常にフィルムがラップされなくなる原因になります。

●ご使用前に以下のことを確認してください。

- ・フィルムがローラーに挟まっていること→詳しくはP.22「4. フィルムセッターを使用してフィルムのセットをします」をご確認ください。
- ・受け板が正しく取り付けられていること→詳しくはP.23「5. ①」をご確認ください。
- ・止水カバーの位置が正しいこと→詳しくはP.23「5. ②」をご確認ください。

確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

バケツ使用の場合

お手入れしましょう

各種機能

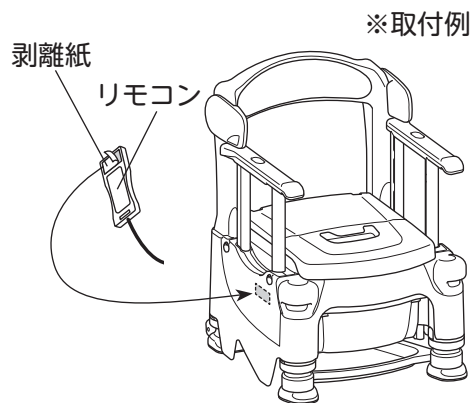
？困ったときには

✖ ご使用の前に / ❤️ 使いましょう

リモコンを取り付けましょう

リモコンの裏にある面ファスナーの剥離紙を剥がし、本体の任意の場所にリモコンを固定できます。

- 暖房便座タイプをご利用の場合は、続けてP.44「各種機能/暖房便座」の「組み立てかた」へお進みください。



ご使用になる前に

ご使用の前にひじ掛けや背もたれを軽くゆすり、各部にガタつきなどの異常がないか点検すること

ガタつきを感じたときは

詳しくは…P.42「点検のしかた」へ

を参照し

対処してください。



警告

子どもを遊ばせるなど、他の用途では使用しないこと



ペーパーホルダーを手すり代わりにしないこと

転倒やけが、故障、破損の原因になります。



介助者がいない場合、自分自身の身体を十分に安定させられないときは使用しないこと

転倒やけがの原因になります。

ふらつきがある方など



製品に過度な力や強い衝撃を加えないこと

- ・ ひじ掛けや背もたれ、側方ガードを移動時の手すり代わりにする
- ・ 立ち座り時にひじ掛けに全体重がかかるような過度な横方向の力を加える
- ・ 便座・上蓋の上に立つ
- ・ 製品を落とす
- ・ 上蓋やひじ掛けの上に腰かける …など

転倒やけが、故障、破損の原因になります。



体重が100kgを超える方は使用しないこと

転倒やけが、故障、破損の原因になります。



注意

ペーパーホルダーにはトイレットペーパー以外のものを掛けないこと
ペーパーホルダーが外れる原因になります。



📖 使いましょう (ラップユニット使用の場合)

ラップユニットの使いかた

使用前の準備のしかた

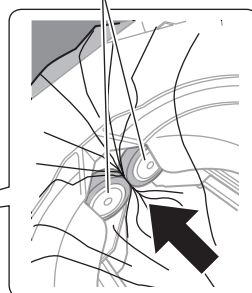
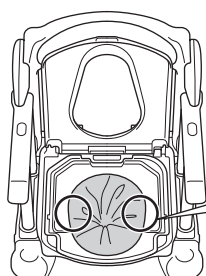
1. リモコンのランプとフィルムの状態を確認します

- ① リモコンの電源ランプが緑色に点灯していることを確認します。



- ② フィルムに穴が空いていないこと、ラップユニットの両側のローラーにフィルムが挟まっていることを目視で確認します。

ローラー (片側 2 つずつ)

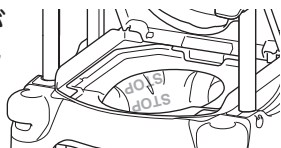


※ ローラーにフィルムが挟まっていない場合はフィルムを取り付け直してください。

フィルムカセットの取り付けのしかたは…P. 21 へ

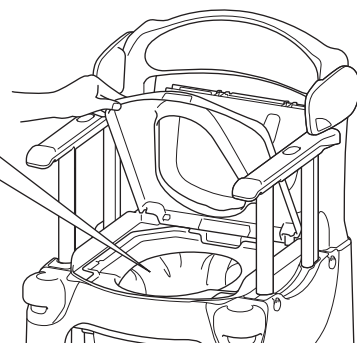
- ③ フィルムに「STOP」マークが出ていないことを確認します。

「STOP」(赤文字) マークが出ていたら、フィルムカセットの交換を行ってください。



※ 「STOP」マークが出てから約 8 回お使いいただけますが、早めの交換をおすすめします。

フィルムカセットの交換のしかたは…P. 29 へ



2. 凝固剤を指定の量入れます

注意



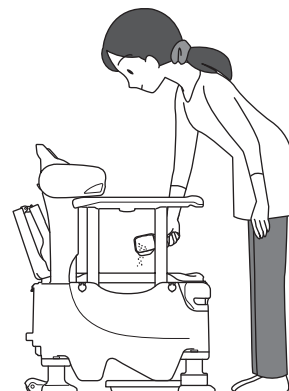
凝固剤は指定の量を超える量を投入しないこと

大量に投入すると凝固剤がローラーに巻き込まれ、動かなくなるなど製品故障の原因になります。

凝固剤を入れずに使用しないこと

汚物が漏れ、製品故障の原因になります。

※ その他、凝固剤の注意は凝固剤の袋に記載の内容をよくお読みください。



👉 確認しましょう

! 安全上の注意

✖ ご使用の前に

📖 使いましょう

🗑 バケツ使用の場合

💧 お手入れしましょう

🔧 各種機能

? 困ったときには

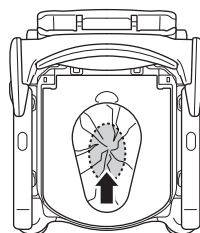
❤️ 使いましょう (ラップユニット使用の場合)

汚物処理のしかた

1. ラップユニットを作動させます

- ①汚物やトイレトペーパーなどが便器内中央部に入っていることを確認します。
- ②便座に座ってない状態で、リモコンの作動ボタンを約1秒押します。作動中ランプが緑色に点灯し、ラップが開始されます。

ラップには90カウントかかり、表示画面にはラップ終了までの目安時間が表示されます。ラップ終了時には「ピッピッピ」という案内音が鳴ります。リモコンの作動中ランプが消灯し、ラップされた汚物が自動的に切り離されて動作終了です。



※点線の範囲内を目安に入れてください。収まらない場合はフィルム送りボタンを押して調整してください。



90カウント



注意



便座に腰かけた状態でラップユニットを作動させないこと

フィルムが破れたり、ラップユニットが作動せず、ラップ不良の原因になります。

ラップ動作が終了するまでフィルムに触れないこと

正しく動作せず、ラップされないために汚物が漏れて製品故障の原因になります。

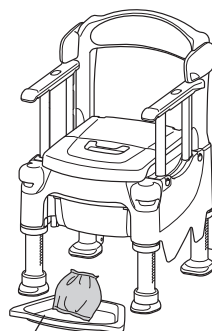
ラップが切り離されるまで続けて使用しないこと

汚物が漏れて製品故障の原因になります。

2. 汚物を捨てます

リモコンの作動中ランプが消灯していることを確認したら、ラップ受けトレーを引き出し、ラップされた汚物を捨てます。ラップされた汚物を取り出した後、ラップ受けトレーは元の位置に戻してください。

- ・オムツの分類を参考にするなど、お住まいの地域の分別ルールにしたがって廃棄してください。
 - ・大便是ラップされたフィルムから取り出し、トイレに流してください。
- ※凝固剤の注意事項にしたがって汚物処理をしてください。



ラップ受けトレー

注意



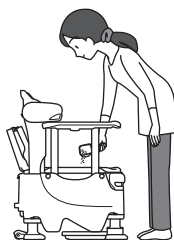
ラップ受けトレーにラップされた汚物をためないこと

製品故障の原因になります。

ラップのし直しかた

- フィルムに穴が開いている場合。
- 凝固剤を入れ忘れて排泄してしまった場合。
- フィルムが切り離される前に無理にフィルムを引っ張ってしまった場合などのときは、こちらの手順でラップをし直してください。
(凝固剤が入っている場合は、③の操作から行ってください)

①正しくフィルムがセットされた本体（ラップユニット）に凝固剤を計量カップ1杯分入れます。

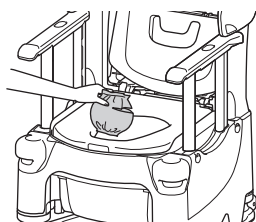


②ラップし直したいフィルムを開けます。



※汚物がこぼれないようにご注意ください。

③①で入れた凝固剤の上に、②で開封したフィルムを入れます。



④ P.27「汚物処理のしかた」にしたがってラップ動作を行います。

フィルムカセット交換の案内

フィルム残量が少なくなると、作動ボタンを押したときに案内音が鳴ります。

リモコンのランプ表示	案内音	ラップユニット	対処方法
	「ピピピ」 5秒間隔で案内音が鳴ります。	作動しない	すぐにフィルムカセットを交換してください。 新しいフィルムカセットがすぐに用意できない場合はバケツをセットしてご使用ください。 フィルムカセットの交換のしかたは…P.29～30へ バケツのセットのしかたは…P.33～36へ

確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

バケツ使用の場合

お手入れしましょう

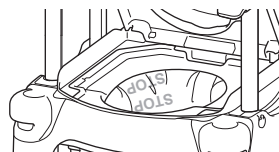
各種機能

？困ったときには

📖 使いましょう (ラップユニット使用の場合)

フィルムカセットの交換のしかた

トイレの中のフィルムに「STOP」マークが出たらすみやかにフィルムカセットを交換してください。



1. リモコンのフィルム送りボタンを押し、残ったフィルムを出し切ります

フィルム送りボタンを押している間、フィルムが送り出されます。20cm 送り出されると自動で停止します。フィルムがなくなるまで繰り返しフィルム送り操作をしてください。



2. 電源プラグをコンセントから抜きます

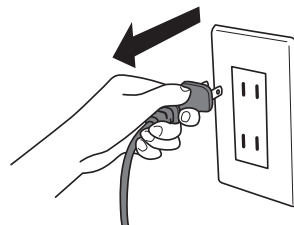
警告



電源プラグを差した状態でトイレの中に手を入れないこと

ローラーや圧着ゴムに手を挟まれて、けがや火傷の原因になります。

また、通電している部分に触れ、感電やショートの原因になります。

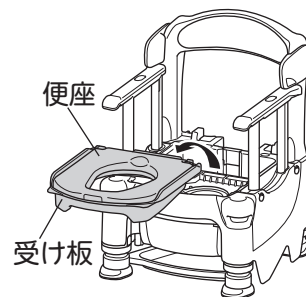
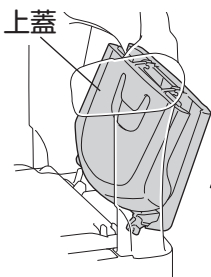


3. 上蓋を外し、受け板ごと、便座と止水カバーを外します

便座の裏や止水カバー、受け板が汚れている場合は、汚れをふきとってください。

※止水カバーは受け板と便座の間に入っています。

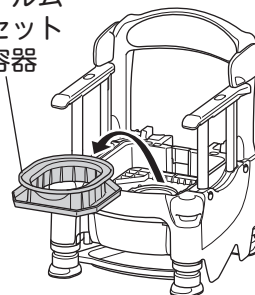
上蓋



4. 空になったフィルムカセットの容器を抜き取ります

空になったフィルムカセットの容器はおすまいの自治体の指示にしたがって廃棄してください。

フィルムカセットの容器



ラップユニット周辺はフィルムカセットを外さないと清掃ができません。フィルムカセット交換の際に清掃してください。

確認しましょう

！安全上のご注意

✖ご使用の前に

📖 使いましょう

📦 バケツ使用の場合

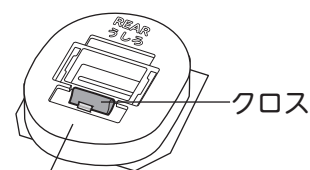
💧 お手入れしましょう

🔧 各種機能

？ 困ったときには

5. ヒーター表面の汚れをふきとります

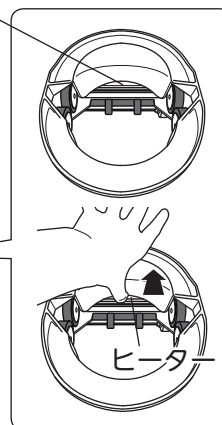
- ①フィルムカセットにテープで貼付されているクロスを取り外します。
- ②ラップユニット内のフィルムサポート（白色の部品）を奥側に向かって押し、ヒーター（銀色の部品）を露出させ、クロスでヒーター表面の汚れをふきとります。



フィルムカセット

フィルムサポート

ラップユニット



注意



ヒーターの汚れをクロスでふきとる際は、ヒーター部分の温度に注意すること

ラップ動作直後にはヒーター部分が高温になっている場合があります。

6. 新しいフィルムカセットを取り付けます

P.22「3. フィルムカセットをラップユニット天面にのせます」の手順にしたがってフィルムカセットを取り付けてください。

トイレの使いかた

座りかた

●理想的な排泄姿勢

便座へ十分に近づき、ゆっくり座ってください。



まっすぐ前を向く

軽く股を開く

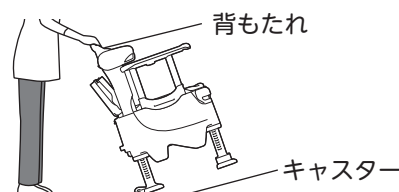


前傾姿勢をとり、骨盤を立たせる

便座の適切な位置まで、深く座る

移動のしかた

背もたれを持ち、本体を斜めに傾け、キャスターを床につけて、ゆっくり移動させてください。



背もたれ

キャスター

警告



物をのせたまま移動させないこと

- ・人や物をのせたまま移動させない
 - ・バケツに水や汚物を入れたまま移動させない
- けが、故障、破損、服や床を汚す原因になります。

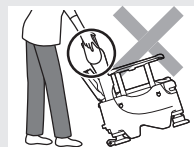


注意



側方ガードやペーパーホルダーをつかんでトイレを移動させたり、傾けないこと

けが、故障、破損の原因になります。



確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

バケツ使用の場合

お手入れしましょう

各種機能

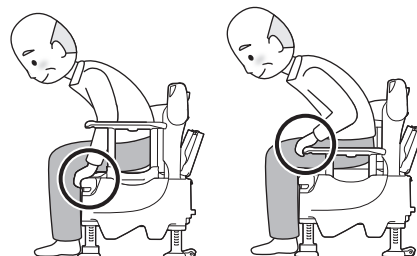
？困ったときには

♡ 使いましょう

こんな使いかたができます

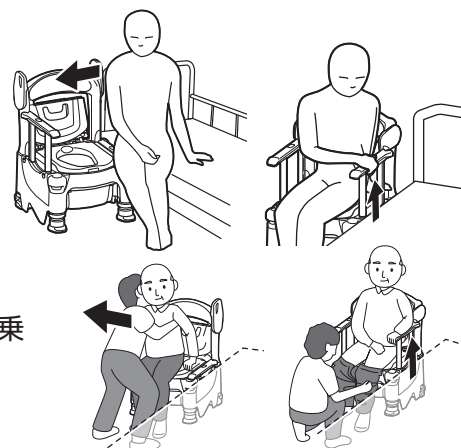
立ち上がりやお尻拭きが楽にできます

- 姿勢保持グリップに手をつくと前傾姿勢が取りやすくなり、立ち上がりやお尻拭きが楽にできます。
もし姿勢保持グリップの位置が低いと感じる場合は、ひじ掛け高さを低く（高さ6 cm ～）してご使用いただくこともできます。
※姿勢保持グリップは本体から取り外して、住宅用洗剤（弱アルカリ性・中性）で洗える構造です。



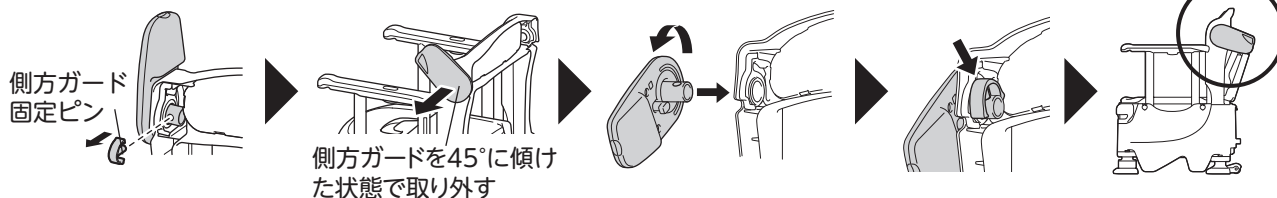
楽に座位移乗できます

- 立ち上がれないが座位移乗ができる場合
ひじ掛けを便座面まで下げ、身体を引き寄せながらトイレに移乗し、奥のひじ掛けをつかんで身体を便座の中央まで引き寄せ、便座に座った後、ひじ掛けを上げて使用できます。
- 介助される方が補助して移乗させる場合
ひじ掛けを便座面まで下げた状態で身体を支えてトイレに移乗させ、ひじ掛けを上げて使用できます。



座った状態での横倒れを防げます

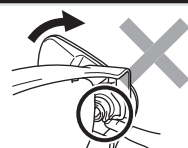
- ひじ掛けの昇降操作やお尻ふき動作など、上体が不安定な時に側方ガードで上体を支えることができます。
- ・側方ガードを使用する時は、側方ガードを前方へ倒してください。
- ・座位移乗など側方ガードのある位置のスペースが必要な場合は、側方ガードを上へ向けてください。
- ・側方ガードを使用しない場合は、側方ガード固定ピンを取り外し側方ガードを後方へ向け、側方ガード固定ピンで固定してください。



注意

側方ガード固定ピンに触れた状態で、側方ガードを動かさないこと

手指が挟み込まれ、けがの原因になります。



側方ガードを外した状態で使用しないこと

側方ガードを外した背もたれの穴部に触れた際に手指が挟み込まれ、けがの原因になります。



上蓋を外して使用できます

- 着座時に上蓋が背中に当たったり、後方からお尻をケアする場合など、上蓋が不要なときは、取り外すことができます。

外しかたは…P.38「上蓋・便座まわりのお手入れ方法」の「1. 上蓋を取り外します」へ



円背の方や後方からケアしたい場合におすすめです



上蓋を外す

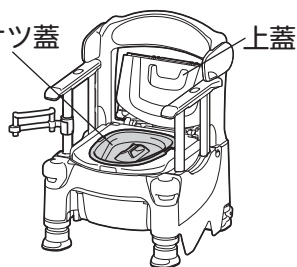


バケツ蓋を便座の上にのせてフタをすることができます

- 上蓋を外した場合や、上蓋の開閉動作が難しい場合は、バケツ蓋を便座の上にのせてフタをすることができます。

※バケツ蓋が汚れている場合は、洗ってからご使用ください。

バケツ蓋



上蓋



上蓋の開閉が難しい場合におすすめです

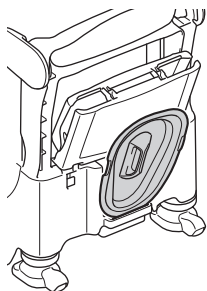
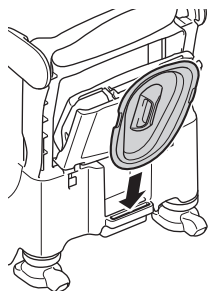
トイレ本体の後側にバケツ蓋・上蓋を保管できます

- トイレ本体（後側）の長穴部にバケツ蓋や上蓋を取り付けて保管できます。

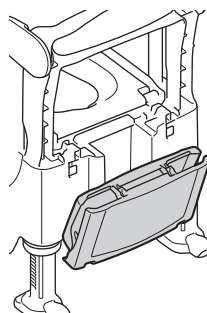
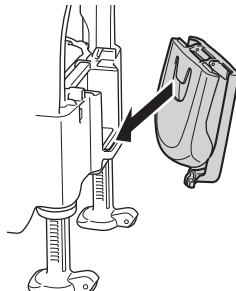


長穴部

- ・バケツ蓋（脱臭タイプは除く）
バケツ蓋の持ち手を本体後方に向け、前縁を差し込みます。



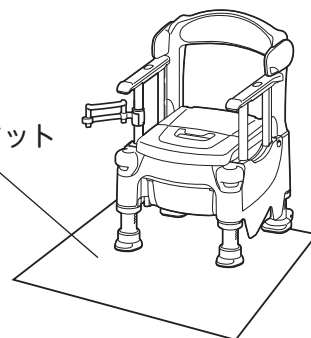
- ・上蓋（便座高さ 43cm 以上のみ）
上蓋の持ち手を差し込みます。



より快適にご使用いただくために

- 別売品のご紹介
便座に座る前に用便されてしまう場合もあります。ポータブルトイレ専用の消臭・防水マット（別売品）を敷いておくと、より快適にお使いいただけます。

消臭・防水マット



確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

バケツ使用の場合

お手入れしましょう

各種機能

？困ったときには

🗑 バケツ使用の場合（ご使用前に）

バケツで処理をする 準備をしましょう

※汚物処理はバケツで行うこともできます。
消耗品のフィルムがなくなったとき／停電のとき／
ラップユニットが故障したとき
付属のバケツおよびバケツ受けはすぐに取り出せる場
所に保管しておいてください。

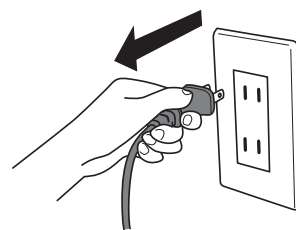
1. 電源プラグをコンセントから抜きます

警告



電源プラグを差した状態でトイレの中に
手を入れないこと

ローラーや圧着ゴムに手を挟まれて、けがや火傷
の原因になります。
また、通電している部分に触れ、感電やショート
の原因になります。

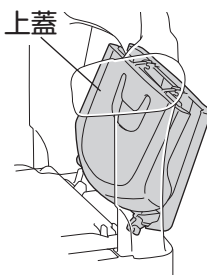


2. 上蓋を外し、受け板ごと便座と止水カバーを外します

※フィルムカセットの取り付け
をしていない場合は、P.34
「5. ラップユニットを取り出
します」へお進みください。

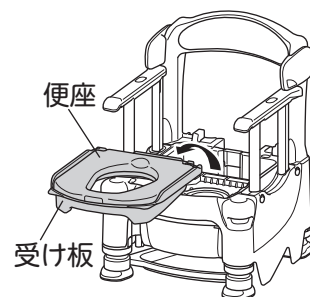
※止水カバーは受け板と便座の
間に入っています。

上蓋



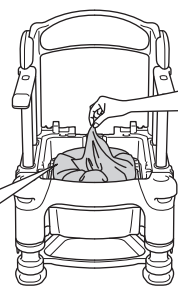
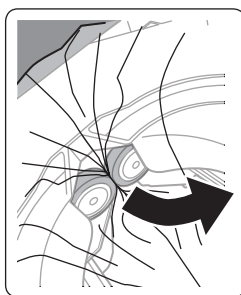
便座

受け板

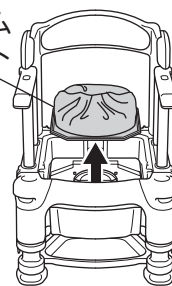


3. フィルムカセットを取り出します

フィルム中央を持ち上げ、左右
のローラーに挟まれているフィ
ルムを外してからフィルムカ
セットを持ち上げます。



フィルム
カセット

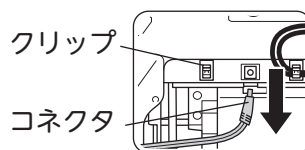


4. ACアダプター(ラップユニット用)を抜きます

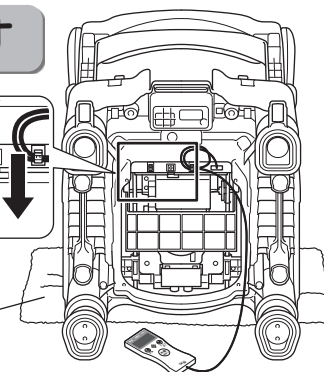
タオルなど、やわらかいものを敷いた上
に、本体を前方に倒して、ACアダプター
(ラップユニット用)を固定しているク
リップから外し、コネクタを抜きます。

クリップ

コネクタ



タオルなど
やわらかいもの



確認
しまし
よう

！安全
上の
ご注
意

✖ご
使用
の前
に

使
い
ま
し
よ
う

バ
ケ
ツ
使
用
の
場
合

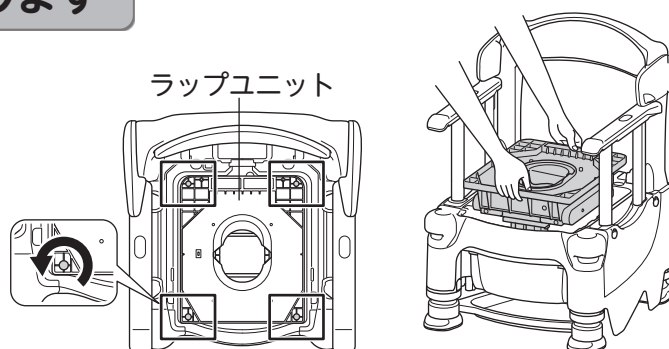
お
手
入
れ
し
ま
し
よ
う

各
種
機
能

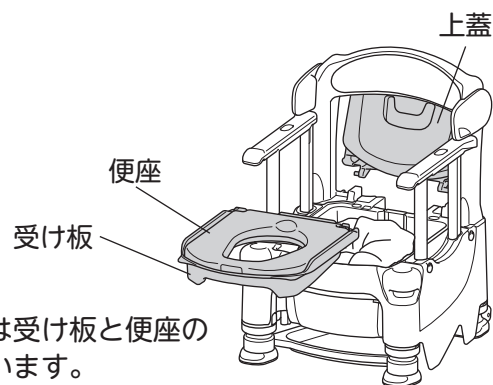
？困
った
とき
に
は

5. ラップユニットを取り出します

ラップユニットを固定しているネジ（4ヶ所）を外して、ラップユニットを取り出してください。



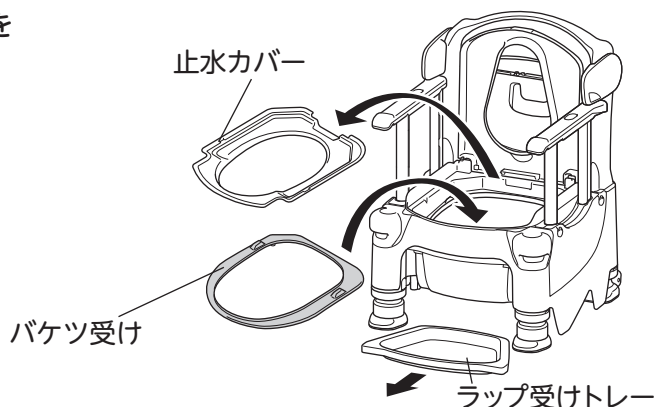
6. 受け板ごと便座と止水カバーを戻し、上蓋を取り付けます



※止水カバーは受け板と便座の間に入っています。

7. 便座を上げてバケツ受けを取り付けます

便座を上げて、止水カバーを外し、バケツ受けを取り付けます。
ラップ受けトレイも取り外してください。



注意



取り外したラップユニットは落下させたり、衝撃を加えたりしないこと
故障・破損の原因になります。

確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

🗑️ バケツ使用の場合

💧 お手入れしましょう

🔧 各種機能

？困ったときには

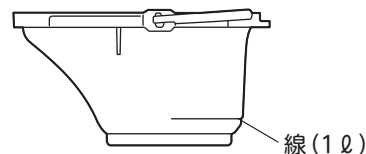
バケツ使用の場合（使いましょう）

バケツの使いかた

使用前の準備のしかた

1. バケツに水を入れます

バケツの内側の線（1ℓ）まで水を入れてください。
※バケツに水が入っていない場合は、防臭効果が減少します。
※バケツの水が1ℓより少ない場合、バケツを持ち運ぶ際にバケツが不安定になることがあります。



2. バケツを設置します

バケツを本体にセットし、バケツの蓋を外してご使用ください。
※バケツ内へは、ティッシュペーパーなどトイレトペーパー以外のものは入れないこと。
トイレで処理する際、詰まる原因になります。



- ・防臭消耗品もご用意しています（別売）。ご活用いただき、快適にお使いください。詳しくは [安寿 防臭消耗品](#) [検索](#) クリック
- ・便の量が多いときなどは、便が水に隠れる程度に水量を増やしてください。
- ・弊社の防臭消耗品は便の量に対して使用量を決めています。十分に防臭効果を得るためには、水の量に関わらず一回のご使用で、各防臭消耗品の指定する分量を入れてください。

確認しましょう

！安全上の注意

✖ご使用の前に

♡使いましょう

場合 バケツ使用の

🔥お手入れしましょう

🔥各種機能

？困ったときには

バケツでの汚物処理のしかた

バケツ柄を真上に持ち上げたときに、バケツ柄が動かないようロック状態となり、安心して持ち運べます。



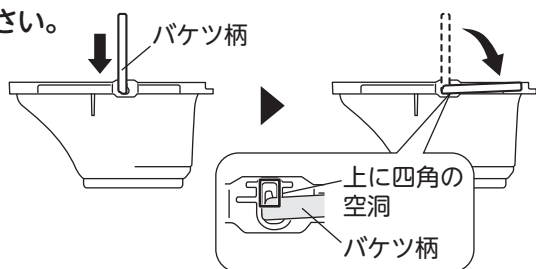
ロック状態になると安定感が増し、安心して持ち運びができます。

ロック解除状態

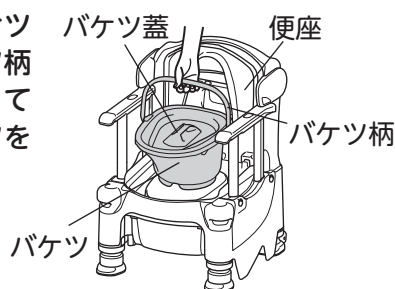
バケツ柄のロックを解除した状態でポータブルトイレに収納してください。

バケツ柄を下に押してロックを解除してください。

そのままバケツ柄を後ろに倒してください。



①便座を上げ、バケツ蓋をして、バケツ柄をしっかりと持ってゆっくりとバケツを取り出します。



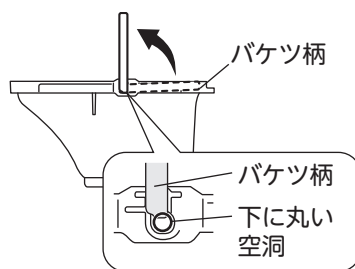
処理後は、逆の手順でバケツを設置し「使用前の準備のしかた」に戻り、使用前の準備をしてください。

詳しくは…P.35へ

ロック状態

バケツ柄をロックした状態で、持ち運びや汚物処理をしてください。

バケツ柄を真上に持ち上げるとロック状態になります。



②汚物をトイレに流し、バケツを洗浄します。

※右図のように、バケツ柄を持ち、もう片方の手でバケツ後方を支えると安定してトイレに流せます。



※弊社防臭消耗品は、汚物と一緒にトイレへ流すことができます。浄化槽に流しても問題ありません。

※受け板に尿がこぼれた場合は…

詳しくは…P. 37「お手入れしましょう」へ

注意

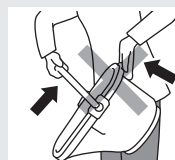
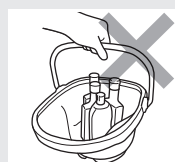


バケツに水、汚物、汚物処理袋、トイレットペーパー、紙以外の物を入れて持ち運ばないこと

バケツ柄に負荷がかかり、変形・破損するおそれがあります。

ロック状態のバケツ柄に必要以上に力を加えないこと

バケツ本体とバケツ柄の回動部に必要以上の力を加えると変形・破損するおそれがあります。



バケツ利用からラップユニット利用への戻しかた

- ① P.33～P.34「バケツで処理する準備をしましょう」の逆の手順で、ラップユニットを本体に取り付けます。
- ② フィルムカセットを取り付けます。

確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

🗑️バケツ使用の場合

💧お手入れしましょう

🔄各種機能

？困ったときには

💧 お手入れしましょう

警告



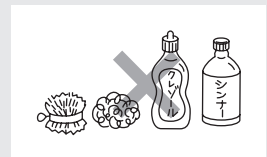
お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜くこと
ラップユニット、リモコン、AC アダプター、暖房便座、脱臭器には水をかけないこと
ラップユニット、リモコン、AC アダプターを無理に引っ張らないこと
暖房便座のスイッチボックスをホルダーに固定したまま便座・受け板を取り外さないこと
感電、ショート、火災の原因になります。

注意



次にあげるものではお手入れしないこと

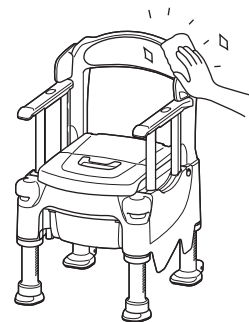
- ・シンナー ・クレゾール ・酸、アルカリ性洗剤
 - ・塩素系薬剤（洗剤）や熱湯（煮沸消毒など）による殺菌、消毒
 - ・磨き粉、タワシ、研磨剤入りスポンジ、その他製品を傷つけるもの
- 製品が劣化し、破損の原因になります。



お掃除のしかた

ポータブルトイレ本体のお手入れ方法

- いつまでも気持ちよくお使いいただくために、こまめに汚れを落としてください。
- 汚れはスポンジかやわらかい布に、住宅用洗剤（弱アルカリ性・中性）をふくませてふきとってください。
ただし、ひじ掛けと脚は水拭きのみとしてください。



ラップユニットのお手入れ方法

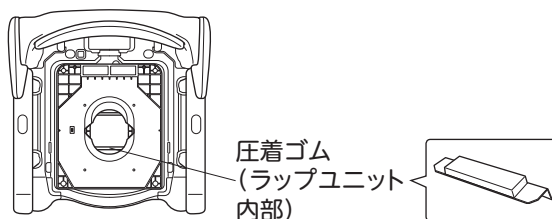
- ①フィルムカセットを取り外します。 ← 詳しくは…P. 33「バケツで処理をする準備をしましょう」1.～3.へ
- ②スポンジかやわらかい布に、うすめた中性洗剤をふくませて、ラップユニット天板の汚れをふきとってください。
お手入れが終わったらラップユニットにフィルムを取り付け直してください。

← 詳しくは…P.21「ラップユニットにフィルムカセットを取り付けましょう」へ

※ラップユニット内部が汚物で汚れた場合は、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

圧着ゴム（オレンジ色）のお手入れ方法

圧着ゴムの汚れをふきとります。
電源プラグをコンセントから抜き、フィルムカセットを外して圧着ゴムを乾いたやわらかい布（フィルムカセットに付属のクロスなど）でふいてください。



排出ローラー（灰色）のお手入れ方法

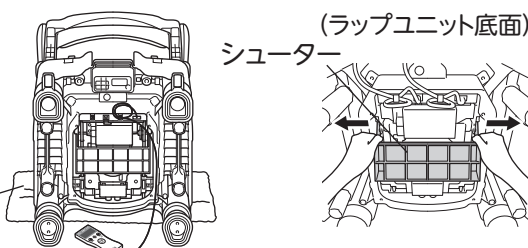
排出ローラーのホコリをふき取ります。

- ①電源プラグをコンセントから抜き、受け板ごと便座と止水カバーを外します。その後、フィルムカセットを取り出します。

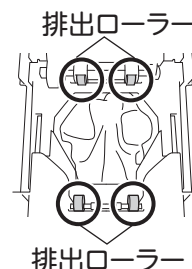
詳しくは…P. 33「バケツで処理をする準備をしましょう」1.～3.へ

- ②タオルなど、やわらかいものを敷いた上に、本体を前方に倒して、ラップユニット底面が見えるように置き、シューターの両端を左右に広げながら取り外します。

タオルなど
やわらかいもの



- ③うすめた中性洗剤やアルコールをやわらかい布にしみこませ、よく絞ってから、排出ローラー（4ヶ所）のホコリや汚れを取り除いてください。



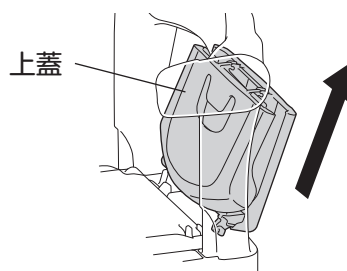
上蓋・便座まわりのお手入れ方法

※ラップユニットを使用している場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。
手や指がラップユニットに挟まれ、ケガの原因になります。

以下の手順で取り外してください。

1. 上蓋を取り外します

上蓋を二つ折りにして、斜め上へ引き抜いてください。



確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

バケツ使用の場合

お手入れしましょう

各種機能

？困ったときには

🔧 お手入れしましょう

2. 便座を取り外します

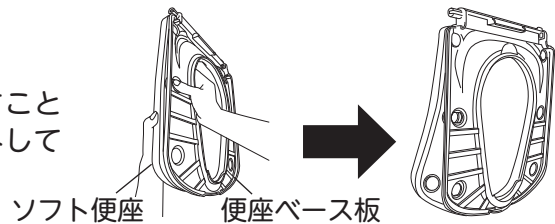
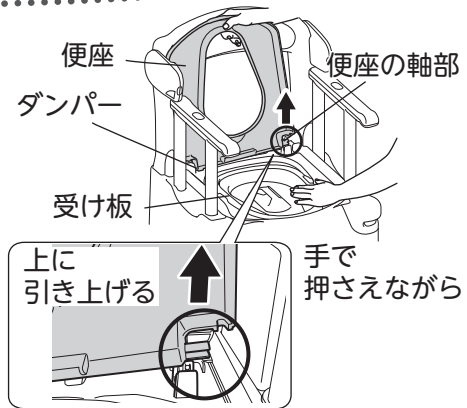
便座を上げて、受け板を手で押さえながら、図のように便座の右側を上引き上げ、軸部を外します。



ダンパーが外れた場合は、P.51「よくあるご質問」をご参照の上、取り付けてください。

※ソフト便座の場合

ソフト便座は便座ベース板から取り外すことができます。裏面の凸部を押して取り外してください。



注意

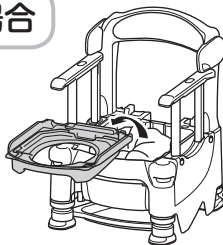


ソフト便座と便座ベース板を取り外す際、無理に引っばらないこと
強く引っばると、ソフト便座が破損します。

3. 使用している方法に合わせて、受け板などを取り外します

ラップユニット使用の場合

受け板と止水カバーを取り外します。

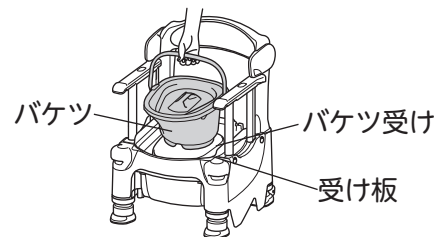


※フィルムを取り外し、ラップユニット周辺のふき掃除をすることも可能です。

詳しくは…P.33「バケツで処理をする準備をしましょう」1.～3.へ

バケツ使用の場合

バケツを取り出し、バケツ受け、受け板を外します。

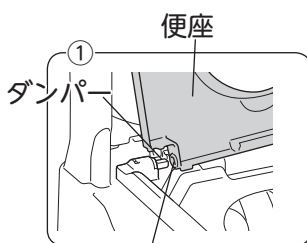


お手入れが終わったら、取り外しと逆の手順で部品を取り付け直してください。

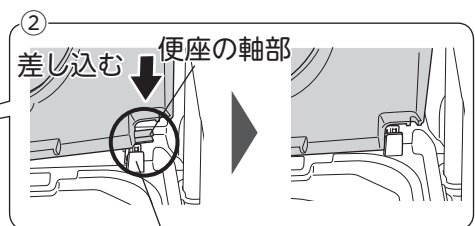
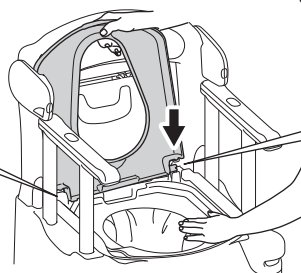
●便座の取り付けかた

①ダンパーを便座の軸部の穴に差し込みます。

②便座の軸部を受け板の軸受けに上から押し込みます。



便座の軸部の穴



受け板の軸受け

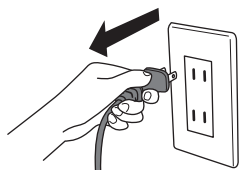
※暖房便座の取り付けは、スイッチボックスに注意し、セットしてください。

取り付けかたは…P.44 暖房便座「組み立てかた」へ

使用途中のフィルムの取り外しかた

用意する物：はさみ

- ①電源プラグをコンセントから抜きます。



警告

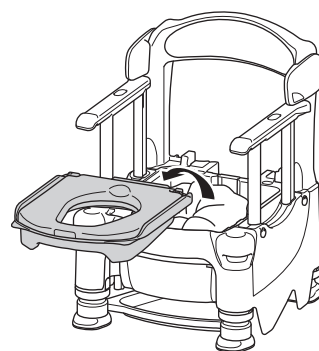
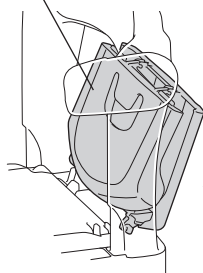


電源プラグを差した状態でトイレの中に手を入れないこと

ローラーや圧着ゴムに手を挟まれて、けがや火傷の原因になります。

- ②上蓋を外し、受け板ごと、便座と止水カバーを外します。

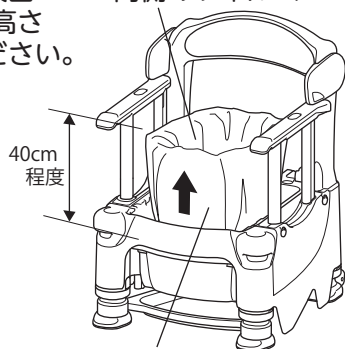
上蓋



- ③フィルムの外側を持ち上げます。

ラップユニットの天面から 40cm 程度の高さまで持ち上げてください。

内側のフィルム



外側のフィルム

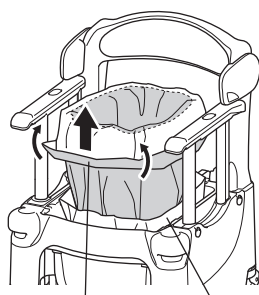
- ④外側のフィルムのみをラップユニット天面から 15cm 程度の高さで切断します。



内側のフィルム

※内側のフィルムを傷つけないように注意してください。

- ⑤内側のフィルムの端を伸ばします。



内側のフィルム

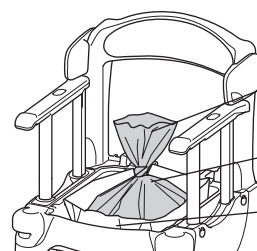
外側のフィルム



内側のフィルム

外側のフィルム

- ⑥残内容物が入っている場合は、内容物がこぼれないようにしっかりと内側のフィルムを結びます。



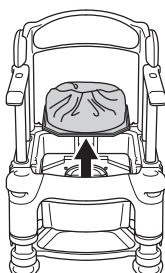
上部をしっかり結ぶ

内側のフィルム

外側のフィルム

※できるだけ中の空気量を減らしてください。

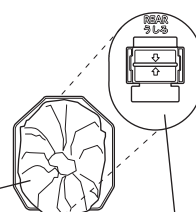
- ⑦内側のフィルムをローラーから引き抜き、フィルムカセットを外します。



- ⑧外したフィルムカセットは図のように向きを合わせてフィルムカセットのフタをかぶせ、保管してください。

フィルムカセット

フィルムカセットのふた



確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

🗑️ バケツ使用の場合

💧 お手入れしましょう

🔧 各種機能

？困ったときには

💧 お手入れしましょう

使用途中のフィルムの取り付けかた

用意する物: フィルムセッター

- ① 電源プラグをコンセントから抜きます。

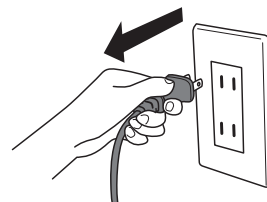
警告



**電源プラグを差した状態でトイレの中に
手を入れないこと**

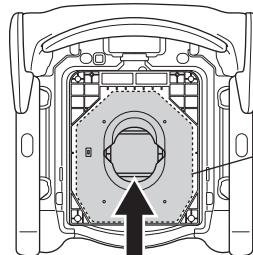
ローラーや圧着ゴムに手を挟まれて、けがや火傷の原因になります。

また、通電している部分に触れ、感電やショートの原因になります。



- ② フィルムカセットの「うしろ」の表示を背もたれ側にセットします。

- ③ フィルムカセットの底面とラップユニットの天面が八角形の溝にはまっていることを確認してください。



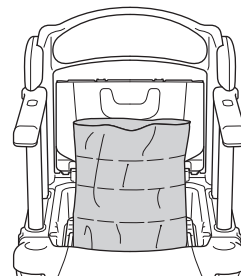
フィルムカセットがはまる天面は八角形になっています



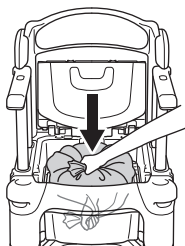
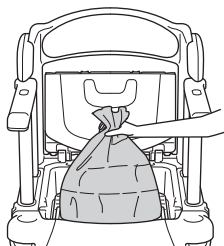
フィルムカセット

フィルムカセットの底面は八角形になっています

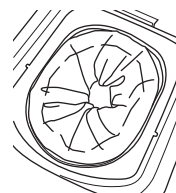
- ④ フィルムカセットのフタを外し、天面からおおよそ 40cm 程度フィルムを引出してもち上げます。



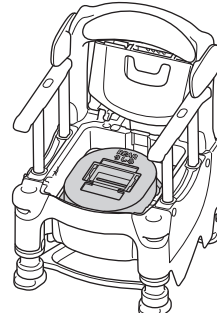
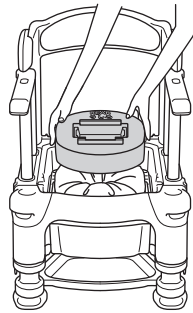
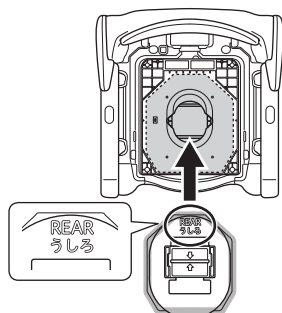
- ⑤ フィルムの上部をひとまとめにつまみ、フィルムカセット中央に押し込みます。



※押し込んだ後、フィルムの折り目が一周しており、ずれたり片寄ったりしてないようにしてください。



- ⑥ ②と同様の向きで、フィルムカセットにフタをのせます。



- ⑦ P.22 ~ 24 「ラップユニットにフィルムカセットを取り付けましょう」の4~8の手順を行ってください。

確認しましょう

！安全上のご注意

✖ご使用の前に

♡使いましょう

🪑バケツ使用の場合

💧お手入れしましょう

🔧各種機能

？困ったときには

点検のしかた

安全に長くお使いいただくために、必ず点検やメンテナンスを行ってください。

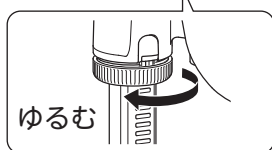
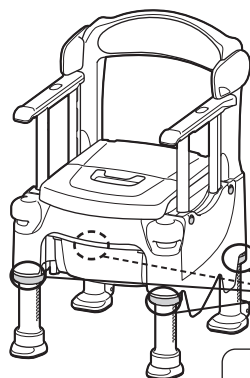
お手入れして取り付けした後や、調節の後、ご使用になる前に、各項目を確認してからご使用ください。

下記の点検を行った時に不具合を感じた場合はただちに使用をやめ、お買い上げの販売店や弊社「お客様相談室（フリーダイヤル：0120－86－7735）」までご相談ください。

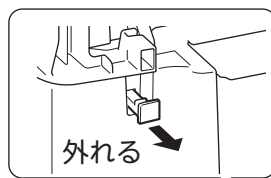
全タイプ共通

ご使用の前に以下の部品がゆるんだり、外れたりしていないか各部にガタつきなど、異常がないか点検すること

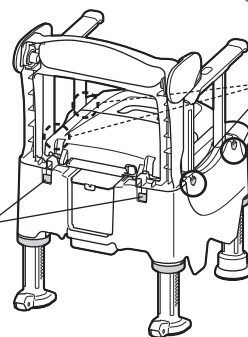
本体が不安定になり、けがの原因になります。



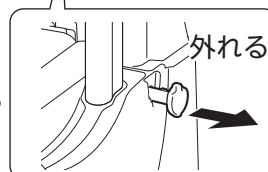
脚部固定ナットがゆるんでいる場合は…P.16～17を参照して、しめ直してください。



背もたれ
固定ピン



ひじ掛け
固定ピン

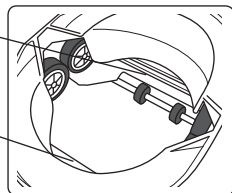


背もたれ固定ピンが外れている場合は…P.13を参照して、固定してください。

ひじ掛け固定ピンが外れている場合は…P.15～16を参照して、固定してください。

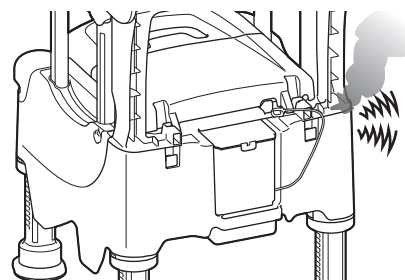
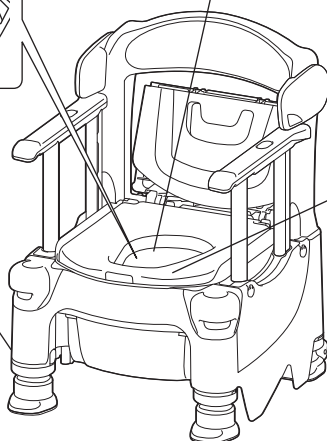
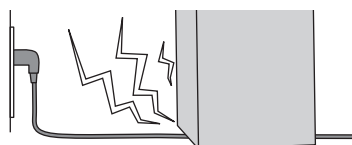
ラップユニット／暖房便座／快適脱臭

- ・ヒーターに汚れがないこと
- ・圧着ゴムが摩耗していないこと

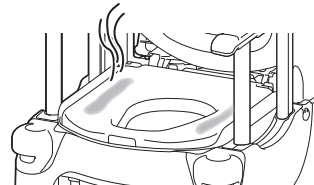


- ・こげ臭いにおいがしないこと
- ・異音・異臭がしないこと

- ・電源コードが熱くなっていないこと
- ・傷んだり、挟み込んだりしていないこと



- ・便座が異常に熱くないこと
- ・あたたかくなること（暖房便座タイプのみ）



確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

バケツ使用の場合

お手入れしましょう

各種機能

？困ったときには

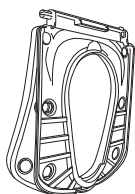
💧 お手入れしましょう

交換部品

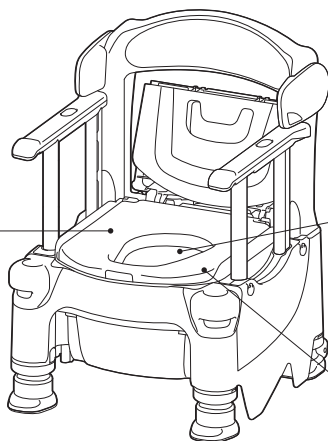
- 製品が劣化・破損した場合は、お買い求めになった販売店へお問い合わせの上、部品を購入し、交換してください。

※ソフト便座タイプのみ

ソフト便座



交換方法は…P.39へ

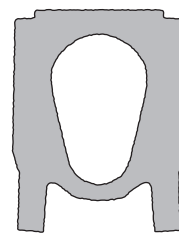


バケツ式



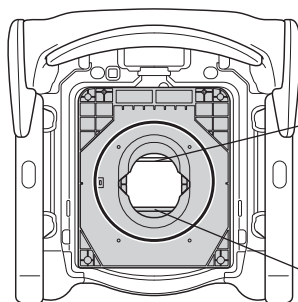
※標準便座タイプのみ

吸着便座シート

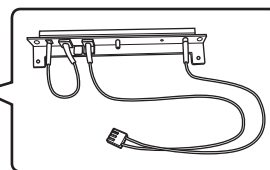


交換方法は…P.19～20へ

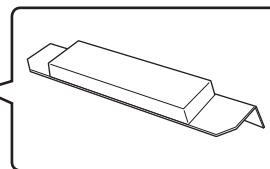
■ラップユニット



ヒーター
(ラップユニット内部)



圧着ゴム
(ラップユニット内部)



※ヒーター、圧着ゴムの
交換の目安は約2年です。
(1日5回利用想定)

確認
しましょう

！安全
上のご注意

✖ご使用
の前に

♡使いま
しょう

🗑️バケツ
使用の
場合

💧お手入
れしま
しょう

🔌各種
機能

？困っ
たとき
には

暖房便座について

便座表面温度

室温5℃のとき、便座温度調節ランプの左端点灯（最低設定、黄色ランプ点灯）で約30℃、右端点灯（最高設定、赤ランプ点灯）で約40℃となります。

警告



便座の暖房機能による低温やけどに注意すること

比較的低い温度でも長時間皮ふの同じ場所に触れていると低温やけどのおそれがあります。

- 次のような方が使用されるときは、周りの方が便座の設定温度を「切」にした
り体温よりも低い温度へ調節してください。

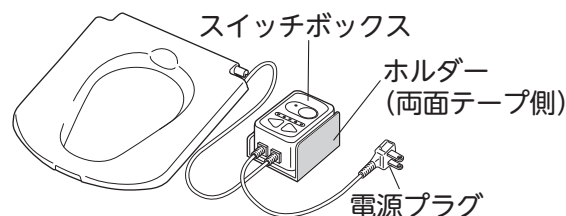
お子様、お年寄り、ご病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮ふの感覚
の弱い方、眠気を誘う薬（睡眠薬・かぜ薬など）を服用された方や深酒、疲労
の激しい方。

※万一、低温やけどをされたときは、ただちに専門医の診断を受けてください。

組み立てかた

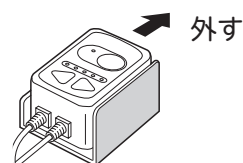
暖房便座のスイッチボックスを本体に固定する

スイッチボックスは、ポータブルトイレ本体の
左右のどちらにでも固定できます。



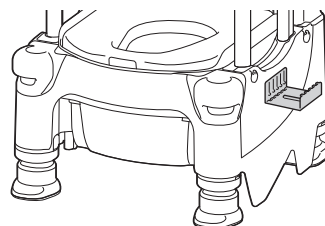
1. ホルダーからスイッチボックスを外します

ホルダーからスイッチボックスをスライドさせて
外します。

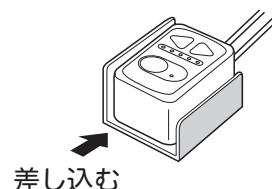


2. ホルダーを本体に固定します

ホルダーの離型紙を剥がし、本体の側面に
しっかりと固定してください。
この際、本体のポケットなどの邪魔にならな
いよう注意してください。



3. ホルダーにスイッチボックスを差し込みます



確認
しましょう

！安全
上の注
意

✕ご
使用
の前
に

♡使
いま
しよ
う

バ
ケ
ッ
使
用
の
場
合

お
手
入
れ
し
ま
し
よ
う

各
種
機
能

？困
っ
た
と
き
に
は

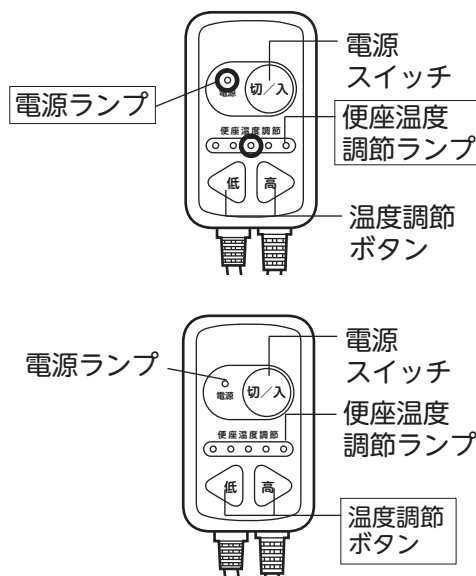
使いかた

温度調節のしかた

- ①電源プラグをコンセントに差し込むと、スイッチが入り「電源ランプ」と「便座温度調節ランプ」の中央ランプが点灯し、温度が上がり始めます。
- ②「温度調節ボタン」の「低」「高」ボタンを押すとランプ表示が切り換わり、便座表面の温度調節ができます。
- ③お好みの温度に調節してください。
※最低約 30℃～最高約 40℃（室温 5℃のとき）の範囲で 5 段階に調節できます。

低温やけどを防ぐには、体温よりも低い温度で使用してください。

〈スイッチボックス〉



警告



長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いておくこと

スイッチボックスを必要以上に引っ張らないこと

スイッチボックスをホルダーに固定したまま便座を取り外さないこと

故障・破損の原因になります。

故障・破損したまま使用すると、感電、ショート、火災の原因になります。

確認しましょう

！安全上のご注意

✖ご使用の前に

♡使いましょう

🔌バケツ使用の場合

💧お手入れしましょう

🔥各種機能

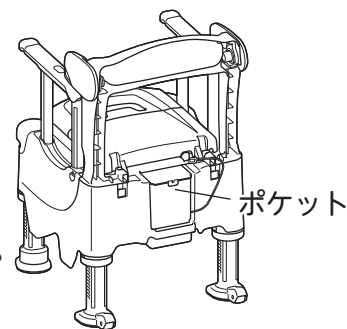
？困ったときには



組み立てかた

脱臭器を取り付ける

脱臭器はポータブルトイレ本体の後方（ポケット）に収納されています。

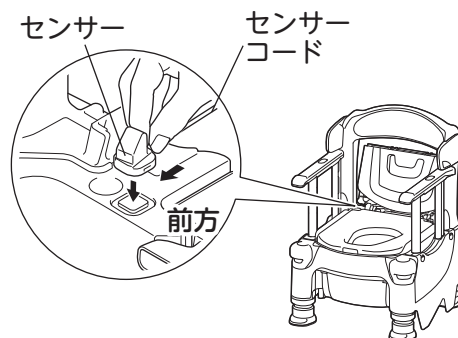


1. センサーが取り付けられていることを確認します

センサーが本体上面（受け板の切欠き部）に取り付けられていることを確認してください。

外れている場合

図の向きを参考に、面ファスナーで固定されるように取り付けてください。



注意



センサーやセンサーコードを引っ張ったり折り曲げたりしないこと

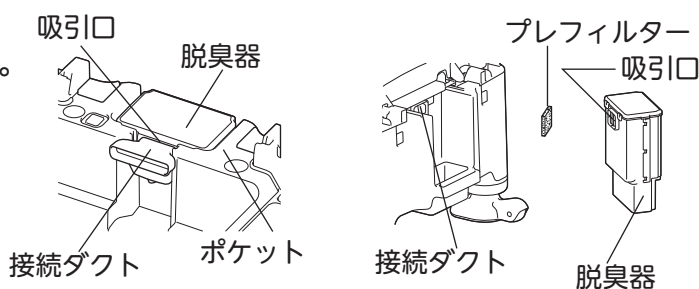
断線して故障の原因になります。脱臭器を持ち運ぶときは、センサーやセンサーコード、脱臭器の蓋だけを持たずに、必ず脱臭器の本体を持ち、センサーに手をそえて持ってください。

2. 接続ダクトとポケット・脱臭器がしっかり接続されているか確認します

接続ダクトと脱臭器がすき間なく接続されているか確認してください。

外れている場合

脱臭器の吸引口を接続ダクトに合わせて押し込んでください。



注意



**接続ダクトはポケット・脱臭器としっかり接続してあることを確認すること
吸引口に異物などを差し込んだり、挟み込まないこと**

吸引力を低下させたり、故障の原因になります。

確認しましょう

！安全上の注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

バケツ使用の場合

お手入れしましょう

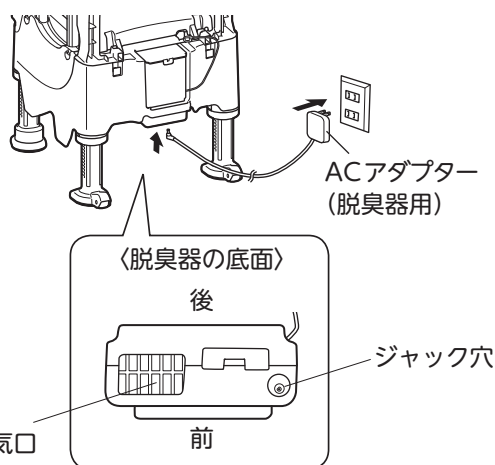
各種機能

？困ったときには



3. AC アダプター（脱臭器用）を接続します

ACアダプター（脱臭器用）の端子を脱臭器の底面にあるジャック穴に差し込み、ACアダプター（脱臭器用）の電源プラグを、家庭用（交流100V 50/60Hz）コンセントに差し込んでください。脱臭器の試運転が約30秒開始します。（試運転の間に人体を感知すると運転が持続します）



※脱臭器の中には吸着材が入っており、悪臭を吸着して取り除きます。
吸着材の寿命の目安は、1日1時間の使用で約7年です。

警告



脱臭器の排気口に物や手を入れないこと

回転するファンに巻き込まれ、けがの原因になります。
また、ファンの故障の原因になります。

使いかた

センサーの感知

センサーは人の動きを感知し続けると運転を継続しますが、人の動きを感知しなくなってから約5分後に運転を停止します。

ご使用中でも長時間一定の姿勢で着座されたときは、センサーが使用者の動きを感知しないため停止することがありますが故障ではありません。

このようなときは、お体を前後に軽く動かすかセンサーの前に手をかざして、センサーが人体の動きを感知するようにしてください。

※浅く座ると感知しません。正しい座りかたは…

← P.30「座りかた」へ



センサーの位置

お掃除のしかた

警告



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜くこと
脱臭器は水をかけないこと

感電、ショート、火災の原因になります。

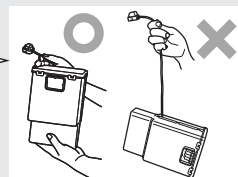
注意



センサーやセンサーコードを 引っ張ったり折り曲げたりしないこと

断線して故障の原因になります。脱臭器を持ち運ぶときは、
必ず脱臭器の本体を持ち、センサーに手をそえて持ってください。

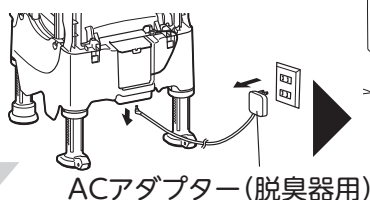
センサー、センサー
コード、脱臭器の蓋
だけを持たない



脱臭器のお手入れ

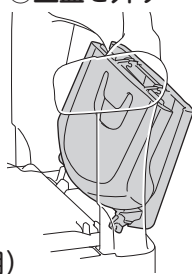
1. センサーを取り外します

①ACアダプター
(脱臭器用)を外す

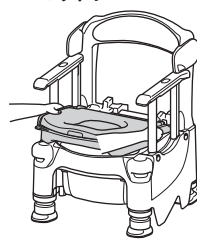


ACアダプター(脱臭器用)

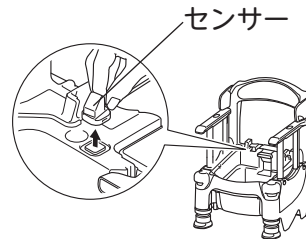
②上蓋を外す



③便座ごと受け板
を外す

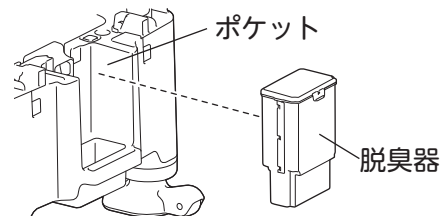


④センサーを外す



センサー

2. 脱臭器をポケットから取り外します

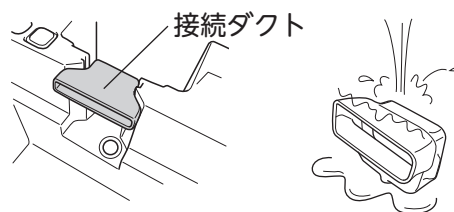


ポケット

脱臭器

接続ダクトのお手入れ

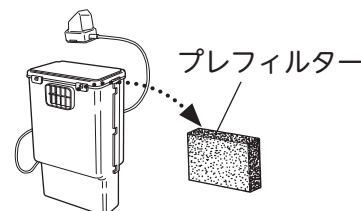
接続ダクトは汚れやほこりがたまりやすいので時々
ブラシなどで、ほこりを取り除いてください。また、
落ちにくい汚れは、水で洗い流してください。



接続ダクト

プレフィルターのお手入れ

プレフィルターは、ほこりがたまりやすいので、月に1度は取り外し
て、やわらかいブラシなどでほこりを取り除いてください。
水洗いもできますので、その場合はよく乾かしてください。



プレフィルター

脱臭器の取り付けは…P.46「脱臭器を取り付ける」へ

確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

🗑️バケツ使用の
場合

💧お手入れ
しましょう

🔧各種機能

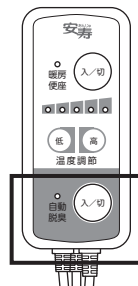
？困ったときには



組み立てかた

1. 暖房便座を組み立てます

暖房便座の組み立てかたは…P.44 へ



暖房・脱臭タイプのスイッチボックスは脱臭機能の ON/OFF スイッチ付きです。

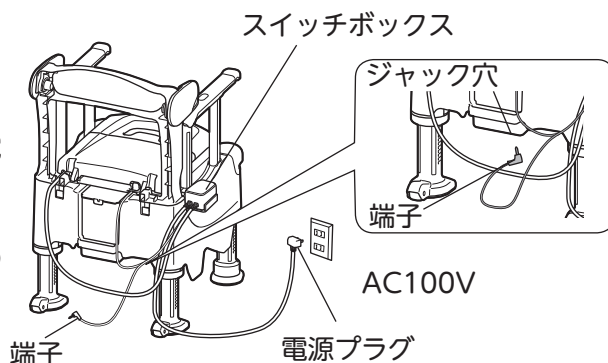
2. 脱臭器を取り付けます

快適脱臭の取り付けかたは…P.46 へ

3. 電源を接続します

スイッチボックスからの端子を脱臭器の底にあるジャック穴に差し込み、スイッチボックスからの電源プラグを家庭用（交流 100V 50/60Hz）コンセントに差し込んでください。

脱臭器の試運転が約 30 秒開始します。（試運転の間に人体を感知すると運転が持続します）



※脱臭器の中には、吸着材が入っており、悪臭を吸着して取り除きます。吸着材の寿命の目安は、1日1時間の使用で約7年です。

警告



脱臭器の排気口に物や手を入れないこと

脱臭器内部の回転するファンに巻き込まれ、けがの原因になります。
また、ファンの故障の原因になります。

確認しましょう

！安全上のご注意

✖ご使用前に

使いましゅう

場合 バケツ使用の

お手入れ

各種機能

？困ったときには

暖房便座について

詳しくは…P.44へ

使いかた

暖房便座

1. 暖房便座を使う場合

①電源プラグをコンセントに差し込むと、スイッチが入り「暖房便座ランプ」と「便座温度調節ランプ」の中央ランプが点灯し、温度が上がり始めます。

②温度調節ボタン（低）（高）ボタンを押すとランプ表示が切り換わり、便座表面の温度調節ができます。

③好みの温度に調節してください。

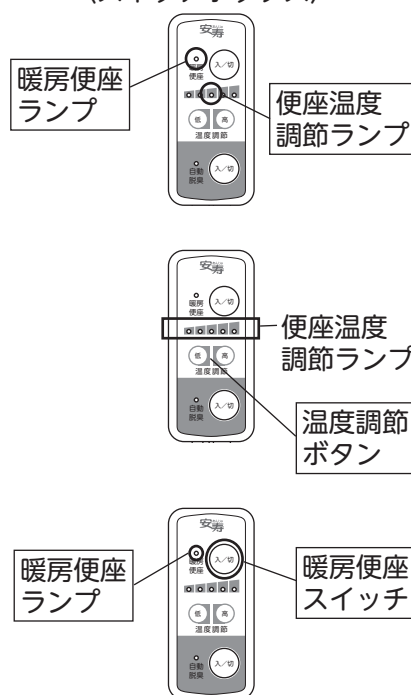
※最低約 30℃～最高約 40℃（室温 5℃のとき）の範囲で 5 段階に調節できます。

低温やけどを防ぐには、体温よりも低い温度で使用してください。

2. 暖房便座を使わない場合

「暖房便座スイッチ」を押すと、「暖房便座ランプ」が消灯し、暖房便座の運転が停止されます。

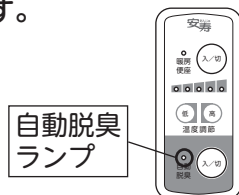
〈スイッチボックス〉



快適脱臭

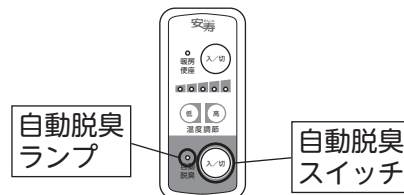
1. 快適脱臭を使う場合

電源プラグをコンセントに差し込むと、スイッチが入り「自動脱臭ランプ」が点灯し、脱臭器が運転を開始します。



2. 快適脱臭を使わない場合

「自動脱臭スイッチ」を押すと、「自動脱臭ランプ」が消灯し、脱臭器の運転が停止されます。



警告



長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いておくこと
スイッチボックスを必要以上に引っ張らないこと

スイッチボックスをホルダーに固定したまま便座・受け板を取り外さないこと
故障・破損の原因になります。
故障・破損したまま使用すると、感電、ショート、火災の原因になります。

確認しましょう

！安全上の注意

✖ご使用の前に

♡使いましょう

バケツ使用の場合

お手入れしましょう

各種機能

？困ったときには

? 困ったときには

よくあるご質問

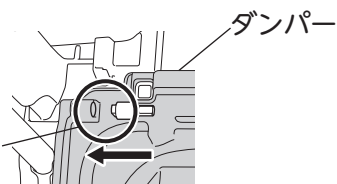
Q 便座のダンパーが外れてしまい、戻しかたがわかりません。



A. 以下の手順で取り付けてください。

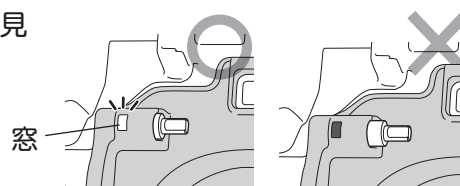
①受け板の穴に、まっすぐ差し込みます。

受け板の穴

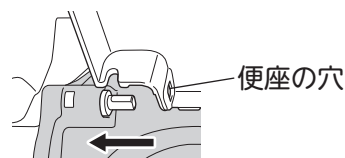


②穴の窓から、ダンパーの白い部分が見えるまで、しっかり差し込みます。

窓



③ダンパーに便座の穴を合わせて差し込みます。



Q ラップ受けトレイは毎回洗わなくてもいいのですか？



A. 1回使用すごとにラップするので汚れません。万が一汚れた場合はうすめた中性洗剤で汚れを落とし、水洗いしてください。

Q トイレットペーパーを使うことはできますか？



A. 市販のトイレットペーパーをご使用いただけます。
トイレットペーパーがラップ部分に挟まらないよう、ご注意ください。

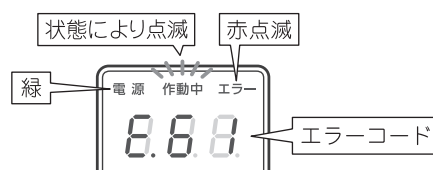
Q ラップ中に停電になりました。



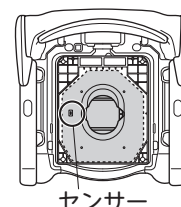
A. 停電が回復するとラップを再開しますので、ラップが終了し、フィルムが切り離されるまで無理にひっぱらないでください。

ラップユニットのエラー

ラップユニットにエラーが発生すると動作が停止し、「ピピピピピー」という案内音が3回繰り返し鳴ります。リモコンのエラーランプの点滅と表示されるエラーコードを確認し、表の内容にしたがって対処してください。



エラーコード	対処方法
E.11	ラップユニットが故障している可能性があります。お買い上げの販売店へご相談ください。
E.12	
E.21	ラップユニットに異物が挟まっている可能性があります。 P.55～56の「異物挟み込みエラー トラブルシューティング」をご確認ください。
E.22	
E.23	
E.24	ラップユニットが故障している可能性があります。お買い上げの販売店へご相談ください。
E.31	
E.32	
E.33	
E.34	ヒーターが故障している可能性があります。お買い上げの販売店へご相談ください。
E.41	
E.42	
E.43	ヒーターが故障している可能性があります。 お買い上げの販売店へご相談ください。
E.44	
E.45	
E.46	ラップユニットが故障している可能性があります。お買い上げの販売店へご相談ください。
E.51	ヒーターが故障している可能性があります。お買い上げの販売店にヒーター交換のご相談をお願いいたします。
E.52	ラップユニットが故障している可能性があります。お買い上げの販売店に修理のご相談をお願いいたします。
E.53	ヒーターが故障している可能性があります。お買い上げの販売店へご相談ください。
E.61	フィルムの残量が少ない可能性があります。対処方法はYouTube®でもご覧いただけます。 【フィルム残量が少ない場合】 フィルム切れの可能性があります。P.29～30の「フィルムカセットの交換のしかた」にしたがってフィルムカセットを交換してください。 【フィルムが残っている場合】 ラップユニットのセンサーが汚れている可能性があります。 P.37の「ラップユニットのお手入れ方法」にしたがって、ラップユニットの天板を清掃してください。その際、ラップユニットのセンサーを傷つけないようにご注意ください。 上記の対処で改善されない場合は、ラップユニットが故障している可能性があります。お買い上げの販売店へご相談ください。
E.71	ラップユニットが故障している可能性があります。 お買い上げの販売店へご相談ください。
E.91	
E.92	
E.93	
E.99	



確認しましょう

！安全上の注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

🗑️ バケツ使用の場合

💧 お手入れしましょう

🔥 各種機能

？困ったときには

? 困ったときには

故障かな?と思ったら

本書をよくお読みの上、次の点をお調べください。

ラップユニット

こんなとき	確認してください	対処方法
電源が入らない (リモコンの電源ランプが点灯しない)	停電していませんか。ブレーカーが落ちていませんか。	ブレーカーが落ちている場合は、コンセントから電源プラグを抜いた後、ブレーカーを入れ、電源プラグを差し込んでください。
	電源コード、プラグが抜けていませんか。	電源コード、プラグを本体とコンセントにしっかり差し込んでください。
	上記以外	お買い上げの販売店にご連絡ください。
リモコンの作動ボタンを押してもラップしない	リモコンの電源ランプ (緑) が消えていませんか。	電源が入っていません。上記の「電源が入らない」をご覧ください。
	リモコンにエラーが表示されていませんか。	エラーの表示を確認し、P.52 の「ラップユニットのエラー」の対処方法にしたがってください。
	上記以外	お買い上げの販売店にご連絡ください。
使用中 リモコンの作動ボタンを押してからラップ動作が終了するまで3分以上かかる 床やラップ受けトレイへ汚物が漏れた	リモコンにエラーが表示されていませんか。	エラーの表示を確認し、P.52 の「ラップユニットのエラー」の対処方法にしたがってください。
	上記以外	お買い上げの販売店にご連絡ください。
	ラップしたフィルムに穴が開いていませんか。	P.28 の「ラップのし直しかた」にしたがってラップをし直してください。
	凝固剤を入れ忘れていませんか。	
	フィルムが切り離される前に無理にフィルムを引っ張っていませんか。	便座に座っていない状態で、改めて作動ボタンを1秒以上長押しし、空運転をしてラップを切り離してください。その後、P.28 の「ラップのし直しかた」にしたがって、再度ラップをし直してください。
	トイレットペーパーや凝固剤がラップ部分に挟まっていますか。	
	便座に座って操作していませんか。	
	フィルムやフィルムのカスがヒーターに貼りついていませんか。	P.40 「使用中のフィルムの取り外しかた」にしたがって、フィルムカセットを外してください。その後、P.30 の「5. ヒーター表面の汚れをふきとります」にしたがって汚れをふきとってください。

確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

バケツ使用の場合

お手入れしましょう

各種機能

? 困ったときには

こんなとき		確認してください	対処方法
使用中	床やラップ受けトレイへ汚物が漏れた	圧着ゴムが摩耗していませんか。	圧着ゴムが劣化している可能性があります。圧着ゴムの交換をお買い上げの販売店にご相談ください。
		リモコンにエラーが表示されていませんか。	エラーの表示を確認し、P.52の「ラップユニットのエラー」の対処方法にしたがってください。
		フィルムカセットをセットせずに排泄していませんか。	ただちに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。その後、お買い上げの販売店にご連絡ください。
		穴の開いたフィルムに排泄していませんか。	
		上記以外の場合。	お買い上げの販売店にご連絡ください。
	ラップ済みフィルムが切り離されない、または、切りにくい	トイレを上から見て、トイレットペーパーなどが挟まっていますか。	P.55～56の「異物挟み込みエラー トラブルシューティング」の内容をご確認ください。
		便座に座って操作していませんか。	
		フィルムがローラーから外れていませんか。	
		排出ローラーが汚れていませんか。	
		フィルムやフィルムのカスがヒーターに貼りついていませんか。	
		圧着ゴムが汚れていませんか。	P.38の「圧着ゴム（オレンジ色）のお手入れ方法」にしたがい、圧着ゴムの汚れをふきとってください。
		圧着ゴムが摩耗していませんか。	圧着ゴムが劣化している可能性があります。圧着ゴムの交換をお買い上げの販売店にご相談ください。
		上記以外の場合。	お買い上げの販売店にご連絡ください。
	焦げ臭い・煙が出る	製品に近づかないでください。	ただちに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。その後、お買い上げの販売店にご連絡ください。
付属品・消耗品	付属品が揃っていない	P.2の「購入品と梱包品の確認」をご確認ください。	付属品が揃っていない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
	付属品をなくした・壊れた、消耗品がなくなった	-	お買い上げの販売店にご連絡ください。

確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

🗑️バケツ使用の場合

💧お手入れしましょう

🔍各種機能

？困ったときには

? 困ったときには

異物挟み込みエラー トラブルシューティング

以下の2つの状況に該当する方はラップユニットに異物が挟まっている可能性があります。

- ・ラップユニットのエラーコード E.21・22・23・24 が表示されている状況
- ・ラップ済みフィルムが切り離せない、または切りにくい状況

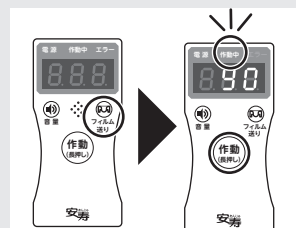
下記のトラブルシューティングにしたがって、対応してください。

異物挟み込みエラーへの対処方法は YouTube[®] でもご覧いただけます。



- ①ラップユニットに異物が挟まっている可能性があります。
「フィルム送りボタン」で異物を送ったあとに「作動ボタン」をもう一度押してラップ処理を試してください。

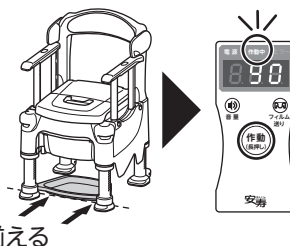
解決しない場合、異物を誤検知している可能性があります。
以下の矢印にしたがって内容を確認してください。



- ②処理済みのフィルムがラップ受けトレイにたまっていませんか？

はい

ラップ受けトレイのフィルムを取り除いたあと、作動ボタンを押してラップ処理をしてください。解決しない場合は次の③の内容をご確認ください。



いいえ

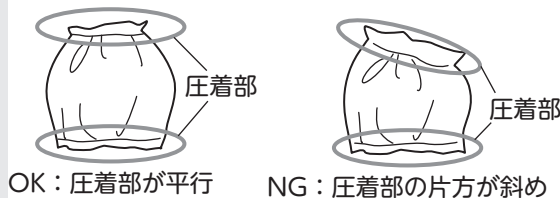
- ③座った状態で「作動ボタン」を押していませんか？

はい

座った状態で「作動ボタン」を押すとフィルム圧着部の厚さが不均一となり、異物と誤検知する場合があります。便座に座らずに、「作動ボタン」をもう一度押してください。解決しない場合は次の④の内容をご確認ください。

いいえ

- ④フィルムが正しくセットされず、フィルム圧着部の厚さが不均一で異物と誤検知している可能性があります。取り出したフィルムの圧着部が平行または斜めかをご確認いただき、その状態に合わせて以下の矢印にしたがって内容を確認してください。



OK
圧着部
が平行

NG
圧着部
が斜め

※次ページに続く

確認しましょう

！安全上の注意

✖ご使用の前に

♡使いましょう

📦ケース使用の場合

🔥お手入れしましょう

🔧各種機能

? 困ったときには

※前ページの続き

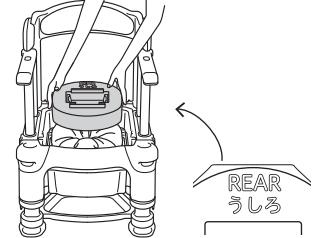
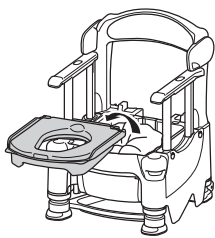
NG 圧着部が斜め

ラップユニットのローラーにフィルムを正しくセットします。

④-1 電源プラグをコンセントから抜きます。その後、受け板ごと、便座と止水カバーを外します。

④-2 図のように、フィルムカセットの「うしろ」表示を背もたれ側にしてフタをセットします。

④-3 P.21~24の「ラップユニットにフィルムカセットを取り付けましょう」の4~8の手順を行ってください。



解決しない場合、以下の矢印にしたがって内容を確認してください。

OK
圧着部
が平行

⑤フィルムの切り離しが悪く、無理やり引っ張って引き離すような使い方をしていますか？

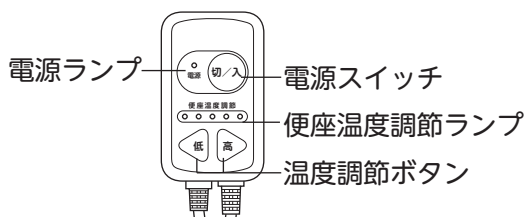
はい

各部に汚れや異物があり、圧着できていない可能性があります。
・排出ローラーの表面をキレイにします
P.38「排出ローラー（灰色）のお手入れ方法」をご確認ください。
・ヒーター表面の異物や汚れをキレイにします
P.40「使用途中のフィルムの取り外しかた」にしたがって、フィルムカセットを取り外し、P.30の「5. ヒーター表面の汚れをふきとります」の手順で汚れをふきとってください。
解決しない場合は次の⑥の内容をご確認ください。

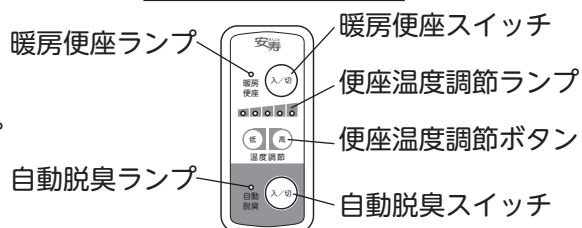
⑥解決しない場合は消耗品（ヒーター・圧着ゴム）の交換時期の可能性や、ラップユニットが故障している可能性があります。（消耗品交換目安：約2年 / 1日5回利用想定）お買い上げの販売店へご相談ください。

暖房便座

暖房タイプ



暖房・脱臭タイプ



こんなとき	調べるところ・原因	処 置	参照ページ
電源スイッチ・暖房便座スイッチを押してもランプが点灯しない	・電源プラグが確実に差し込まれていますか	・電源プラグを差し込みなおす	
便座があたたかくない	・電源が「切」になっていませんか ・設定温度が低くなっていませんか	・電源を「入」にする ・設定温度を高くする	P.45
便座が熱い	・設定温度が高くなっていませんか	・設定温度を低くする	P.45
電源ランプ・暖房便座ランプが点滅し、便座があたたかくない	・異常を感知し、ヒーター通電が遮断されました	・電源プラグを抜いていただき、10秒以上放置後に改めてコンセントに差しして使用してください。再び同じ現象が発生する場合はヒーターが故障した可能性があるため、ただちに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。	

※上記の問題が直らなかった場合は、ただちに電源プラグを抜いて、まずお買い上げの販売店にご相談ください。

確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

🗑️バケツ使用の場合

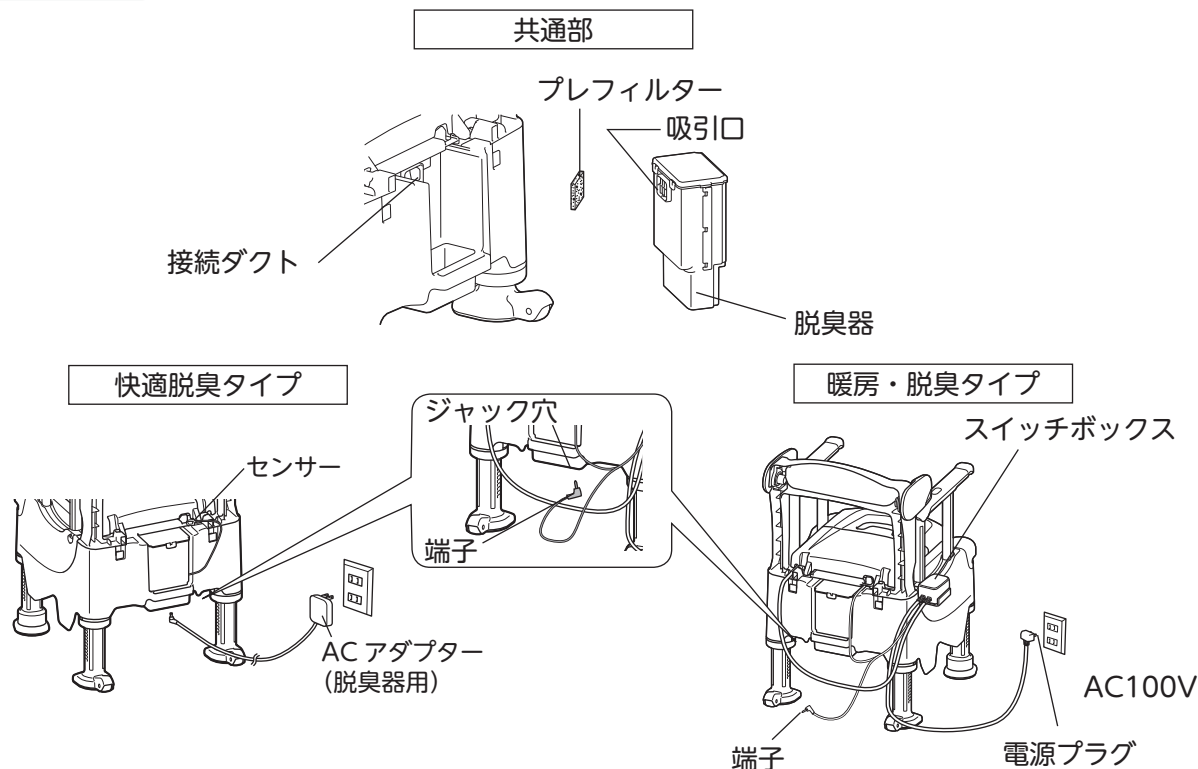
💧お手入れしましょう

🔧各種機能

？困ったときには

? 困ったときには

快適脱臭



こんなとき	調べるところ・原因	処 置	参 照 ページ
臭いがとれない	・プレフィルターにほこりがつまっていませんか	・プレフィルターを掃除する	P.48
	・接続ダクトの吸引口、脱臭器排気口をふさいでいる物はありませんか	・ふさいでいるものを取り除く	
	・接続ダクト・脱臭器がしっかり接続されていますか	・正しく接続する	P.46
センサーに手をかざしても作動しない	・センサーが汚れていませんか	・センサーを掃除する	
	・ACアダプター (脱臭器用)・電源プラグおよび端子は確実に差し込まれていますか	・ACアダプター (脱臭器用) および端子を差し込みなおす ・電源プラグおよび端子を差し込みなおす	P.47 P.47
座ってもセンサーが作動しない	・座る位置が浅くないですか	・便座中央に深く座る	
	・服の色や布地によって、センサーが感知しないことがあります	・衣服を少し持ち上げ肌を感知させる	
	・自動脱臭ランプが消灯していませんか (暖房・脱臭タイプのみ)	・自動脱臭スイッチを押して、ランプを点灯させる	P.50
自動脱臭スイッチを押してもランプが点灯しない (動かない)	・電源プラグおよび脱臭器本体から端子が抜けていませんか (暖房・脱臭タイプのみ)	・電源プラグおよび端子を差し込む	P.49
自動脱臭スイッチランプが点滅し、動かない	・端子が脱臭器本体のジャックに差し込まれていますか (暖房・脱臭タイプのみ)	・端子を差し込みなおす	P.49

※上記の問題が直らなかった場合は、ただちに電源プラグを抜いて、まずお買い上げの販売店にご相談ください。

知的財産権などについて

- YouTube[®] は Google LLC の商標または登録商標です。

保証とアフターサービス

商品のご購入に関するお問い合わせ、ご相談は…お買い求めの販売店へ
商品の仕様等に関するお問い合わせ、ご相談は…下記お客様相談室へ

不具合が発生したとき

万一故障したり、また異常を感じた場合は、ご自分で修理、改造などを絶対にしないで、お買い上げの販売店にご相談ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って修理させていただきますので、製品に保証書（取扱説明書）を添えて、お買い上げの販売店にご依頼ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
部品供給、また修理対応期間はメーカー製品廃番後 3 年となります。
ただし、期間内でも破損箇所によっては、部品供給、または修理できないケースがございますのでご了承ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業、作業員の出張にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

アロン化成株式会社

フリーダイヤル

お客様相談室 ☎0120-86-7735

(受付時間) 祝祭日以外の
月～金 10:00～16:00
(12:00～13:00 はのぞく)

確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用前に

♡使いましょう

🗑️バケツ使用の場合

💧お手入れしましょう

🔍各種機能

？困ったときには

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。尚、保証書の再発行はいたしません。

保証書

この製品は、厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。お客様が取扱説明書・本体添付シール等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に万一故障した場合には、本保証書記載内容により無料修理いたします。有効期間は、お買い上げの日より1年間です。

1. 修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。修理に際しては、本保証書をご提示、もしくは添えてください。
2. ご贈答、ご転居でお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合は、お客様相談室にご相談ください。
3. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
4. 保証期間内でも下記の場合は、有料修理になります。
 - 1) 保証書のご提示がない場合。
 - 2) 本保証書のお買い上げ日、販売店の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 3) 使用上の誤り、あるいは改造、修理、調整による故障または損傷。
 - 4) お買い上げ後の輸送、移動、落下、その他の不適切な取り扱いによる故障または損傷。
 - 5) 火災、地震、塩害、ガス害、風水害、落雷、異常電圧、その他の天災地変による故障または損傷。
 - 6) 消耗品の損傷及び汚れ。
 - 7) 業務用または一般家庭用以外にご使用の場合の故障または損傷。
5. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 電気部品の機能を維持するために必要な補修用部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年です。
7. 保証書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

〈個人情報の取扱いについて〉

- 1) 保証書にご記入いただいた住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用いたします。
なお、本書にてお預かりするお客様の個人情報をお客様の同意を得ることなく、第三者に提供または開示いたしません。
- 2) 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を委託する場合、守秘義務契約を結び当社と同等の水準でお客様の個人情報を取り扱うように管理いたします。

★お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げ日より1年
お客様	ご住所 〒 〒 TEL
★販売店	住 所 〒 店 名 TEL

★印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
もし記入のない場合は直ちに買い上げの販売店にお申し出ください。

●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります

製品に関するご意見
・お問い合わせは

お客様相談室 フリーダイヤル ☎ 0120-86-7735
(受付時間) 祝祭日以外の月～金 10:00～16:00 (12:00～13:00はのぞく)

- ・お客様からいただいたお電話は、内容確認のため、録音させていただいております。
- ・個人情報は適切に管理し、修理やご相談への回答などの情報提供のみに利用いたします。

製造・発売元

TOAGOSEI グループ



アロン化成株式会社

ライフサポート事業部

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階

URL <https://www.aronkasei.co.jp/>

安寿

検索